



2018年11月期

第1四半期 決算説明資料

ハイライト P.2

会社概要 P.5

2018年11月期 第1四半期 業績 P.19

 全社 P.20

 PFMサービス P.27

 MFクラウドサービス P.37

 新規サービスその他 P.48

その他の戦略的取り組み P.54

中長期戦略・今後の展望 P.60



ハイライト

- 連結売上高は**前年同期比+78%**の9.1億円と、引き続き急速に成長。通期予想(年成長率50%~60%)の達成に向け、順調に進捗。
- サービス別売上高はPFMサービスで**+49%**、MFクラウドサービスで**+102%**と、ともに大きく成長。
- 連結EBITDAは△0.9億円と**大幅に改善**(前年同期比+4.7億円)。広告宣伝費除きの連結EBITDAは0.5億円(前年同期比+1.1億円)。

- PFMサービスの利用者数、課金ユーザー数が**順調に増加**。
- **初のメガバンク利用者向けサービス**として『マネーフォワード for <みずほ>』をリリース。
- MFクラウドサービスは、『MFクラウドシリーズ』の拡販と『**STREAMED**』のクロスセルが進み、大きく成長。
- アックスコンサルティング社と業務提携し、クラウドサービス『**Crewシリーズ**』ユーザーを『MFクラウド』に移管。
- 『MF KESSAI』において品質保証サービス大手の**SHIFT社等と業務提携を実施**。
- 第4回日本ベンチャー大賞において「**審査委員会特別賞**」を受賞。

A wide-angle photograph of a modern office interior. The room features long, light-colored wooden tables arranged in rows, with various chairs including orange, green, and white. The ceiling is a grid of recessed fluorescent lights, and a projector is mounted on the ceiling. In the background, there is a wall with a black and white diagonal striped pattern. A large orange rectangular overlay is positioned on the left side of the image, containing the Japanese text '会社概要' (Company Overview) in white. The floor is a light-colored, polished material.

会社概要



辻 庸介(つじ ようすけ)

代表取締役社長 CEO

京都大学農学部を卒業後、ペンシルバニア大学ウォートン校MBA修了。ソニー株式会社、マネックス証券株式会社を経て、2012年に株式会社マネーフォワード設立。新経済連盟の幹事、経済産業省FinTech検討会合の委員も務める。

【受賞歴】

- 2014年1月 「日本起業家賞2014(The Entrepreneur Awards Japan = TEAJ)」で米国大使館賞受賞。
- 2014年2月 「ジャパンベンチャーアワード2014」にて、JVA審査委員長賞受賞。
- 2014年3月 「金融イノベーションビジネスカンファレンスFIBC2014」にて大賞受賞。
- 2016年11月 Forbes Japan「日本のベスト起業家ランキング」を2年連続受賞。
- 2016年12月 日経ビジネス「2017年日本に最も影響を与える100人」として選出。
- 2018年2月 「第4回日本ベンチャー大賞」にて審査委員会特別賞受賞。

金融 x IT に深い知見ある経営陣。2月の株主総会で中出・坂の2名が新たに取締役に就任。



瀧 俊雄

取締役執行役員

マネーフォワードFintech研究所長

慶應義塾大学経済学部卒業後、野村證券株式会社入社。野村資本市場研究所にて、家計行動、年金制度、金融機関ビジネスモデル等の研究に従事。スタンフォード大学MBA修了。2012年に株式会社マネーフォワード取締役に就任。2016年4月金融庁「フィンテック・ベンチャーに関する有識者会議」にメンバーとして参加。



都築 貴之

取締役執行役員

横浜国立大学大学院工学部電子情報工学専攻修了後、ソニー株式会社入社。5GHz帯無線LANルータ開発、PlayStationシリーズ向けコンテンツ配信サービス立ち上げ、著作権保護システム開発、製品セキュリティ対策業務等に従事。2013年に株式会社マネーフォワード取締役に就任。



市川 貴志

取締役執行役員 CISO

マネックスグループ株式会社にて証券取引システムの開発・運用、子会社合併等の各種プロジェクトマネジメントを担当。その後、大手金融システム開発会社にて、インフラ部門の責任者として為替証拠金取引サイトの新規構築に従事。2012年に株式会社マネーフォワード入社。2017年に取締役に就任。



金坂 直哉

取締役執行役員 CFO

東京大学経済学部卒業。ゴールドマン・サックス証券株式会社の東京オフィス、サンフランシスコオフィスにて、テクノロジー・金融業界を中心にクロスボーダーM&Aや資金調達のアドバイザー業務、投資先企業の価値向上業務に従事。2014年に株式会社マネーフォワード入社。2017年に取締役に就任。



中出 匠哉

取締役執行役員 CTO

2001年ジュピターショップチャンネル株式会社に入社。ITマネージャーとしてCRMシステムの開発等を統括。2007年、シンプレクス株式会社に入社し、証券会社向け株式トレーディングシステムの開発等に注力。2015年に株式会社マネーフォワードに入社し、Financialシステムの開発に従事。2016年にCTO、2018年に取締役に就任。



坂 裕和

取締役執行役員 管理本部長

2001年早稲田大学社会科学部卒業後、国際証券にて2年間営業職に従事。青山学院大学法科大学院を卒業し、2008年弁護士登録。2009年SBI証券入社。法務部を経て、経営企画部にて全社プロジェクトの推進・管理を担当。2012年SBIマネープラザの立ち上げを担当し、同社の管理部門管掌取締役に就任。2016年1月に当社入社。2018年に取締役に就任。

新任取締役

日本有数の知見を誇る社外取締役・顧問を招聘。2月の株主総会で田中・倉林が新たに社外取締役として就任。



車谷 暢昭

社外取締役
株式会社東芝 代表執行役会長CEO

株式会社三井銀行に入学。株式会社三井住友フィナンシャルグループ副社長執行役員、株式会社三井住友銀行代表取締役兼副頭取執行役員に就任。2017年にシーヴィーシー・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社代表取締役兼共同代表に就任。2018年に株式会社東芝代表執行役会長CEOに就任。



森川 亮

顧問 (前 社外取締役)
C Channel株式会社 代表取締役社長

日本テレビ放送網株式会社、ソニー株式会社を経て、ハンゲームジャパン株式会社(現LINE株式会社)入社。2007年より代表取締役に就任。2015年C Channel株式会社を設立、代表取締役に就任。株式会社Ubicomホールディングス、株式会社LIFULLの社外取締役も務める。



田中 正明

社外取締役
PwC シニア グローバル アドバイザー

元三菱UFJフィナンシャル・グループ取締役副社長。2011年から2015年までモルガンスタンレー取締役。「フィンテック・ベンチャーに関する有識者会議」等複数の政府系会議メンバー。2017年2月より金融庁参与に就任。



御立 尚資

顧問 (前 社外取締役)
ボストンコンサルティンググループ
シニア・アドバイザー

日本航空株式会社を経て、BCG入社。2006年から2013年までBCGグローバル経営会議メンバーを務める。楽天株式会社社外取締役、国連世界食糧計画WFP協会理事、京都大学経営管理大学院客員教授なども務める。



倉林 陽

社外取締役
Draper Nexus Venture Partners Managing Director

富士通株式会社・三井物産株式会社にて日米でのベンチャーキャピタル業務を担当後、Globespan Capital Partners及びSalesforce Venturesの日本投資責任者を歴任。2015年3月よりDraper Nexus Venture Partnersに参画しManaging Director就任。



春田 真

顧問
株式会社ベータカタリスト 代表取締役CEO

株式会社住友銀行に入学。その後、株式会社ディー・エヌ・エーに入社、常務取締役CFOを経て取締役会長に就任。DeNAの上場を主導するとともに大手企業とのJV設立や横浜DeNAベイスターズの買収等M&Aを推進。2015年に株式会社ベータカタリスト設立、代表取締役就任。

新任取締役

第4回日本ベンチャー大賞「審査委員会特別賞」受賞

9

2018年2月に発表された、第4回日本ベンチャー大賞において「審査委員会特別賞」を受賞。



個人のお金の悩みや不安の解消、事業者の経営改善に貢献し、日本でNo.1の「お金のプラットフォーム」になることを目指しています。

Mission

お金を前へ。
人生をもっと前へ。

Vision

すべての人の
「お金のプラットフォーム」
になる。

Value

User Focus
Technology Driven
Fairness

「お金」は、人生においてツールでしかありません。
しかし「お金」とは、自身と家族の身を守るため、また夢を実現するために必要不可欠な存在でもあります。
私たちは「お金と前向きに向き合い、可能性を広げることができる」サービスを提供することにより、ユーザーの人生を飛躍的に豊かにすることで、より良い社会創りに貢献していきます。

BtoC(個人向け)・BtoB(法人向け)の両領域でサービスラインナップを拡充。

PFMサービス *1



自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」



くらしの経済メディア「MONEY PLUS」

MFクラウドサービス



事業者向けSaaS型サービスプラットフォーム *2
「MFクラウド」

- MFクラウド 会計
- MFクラウド 確定申告
- MFクラウド 請求書
- MFクラウド 給与
- MFクラウド 経費
- MFクラウド 消込
- MFクラウド マイナンバー
- MFクラウド ファイナンス



クラウド記帳サービス「STREAMED」

新規サービス



企業間後払い決済サービス「MF KESSAI」



おつり貯金アプリ「しらたま」



“未来のおかね”を学べるお店「mirai talk」

*1 PFM : Personal Financial Managementの略称

*2 SaaS : Software as a Serviceの略称

家計簿アプリシェアNo.1。利用者数は600万人を突破し、家計簿アプリ利用者の約4人に1人は『マネーフォワード』を利用。

対応数No.1(*) 2,650以上の金融関連サービスに対応。
口座一括管理で自動で家計簿作成



*自社調べ、2018年3月31日現在

利用者数およびシェア



出所：2017年03月23日～2017年3月27日、楽天リサーチ
「現在利用している家計簿アプリ」
調査対象者：20～60代家計簿アプリ利用者685名

難しく捉えられがちなお金の話を、読者が自分事とすることを目的としたメディア。お金を賢く使いこなすために、幅広い情報をお届け。



日々のくらし、人生を豊かにする「くらしの経済メディア」



バックオフィス業務における領域を包括的にカバーするサービスを提供する
企業向けSaaS(*)型サービスプラットフォーム。 *SaaS : Software as a Serviceの略称 (以下同)



☁ MFクラウド 会計・確定申告 / ☁ MFクラウド 請求書 / ☁ MFクラウド 給与 / ☁ MFクラウド マイナンバー
☁ MFクラウド 消込 / ☁ MFクラウド 経費 / ☁ MFクラウド ファイナンス

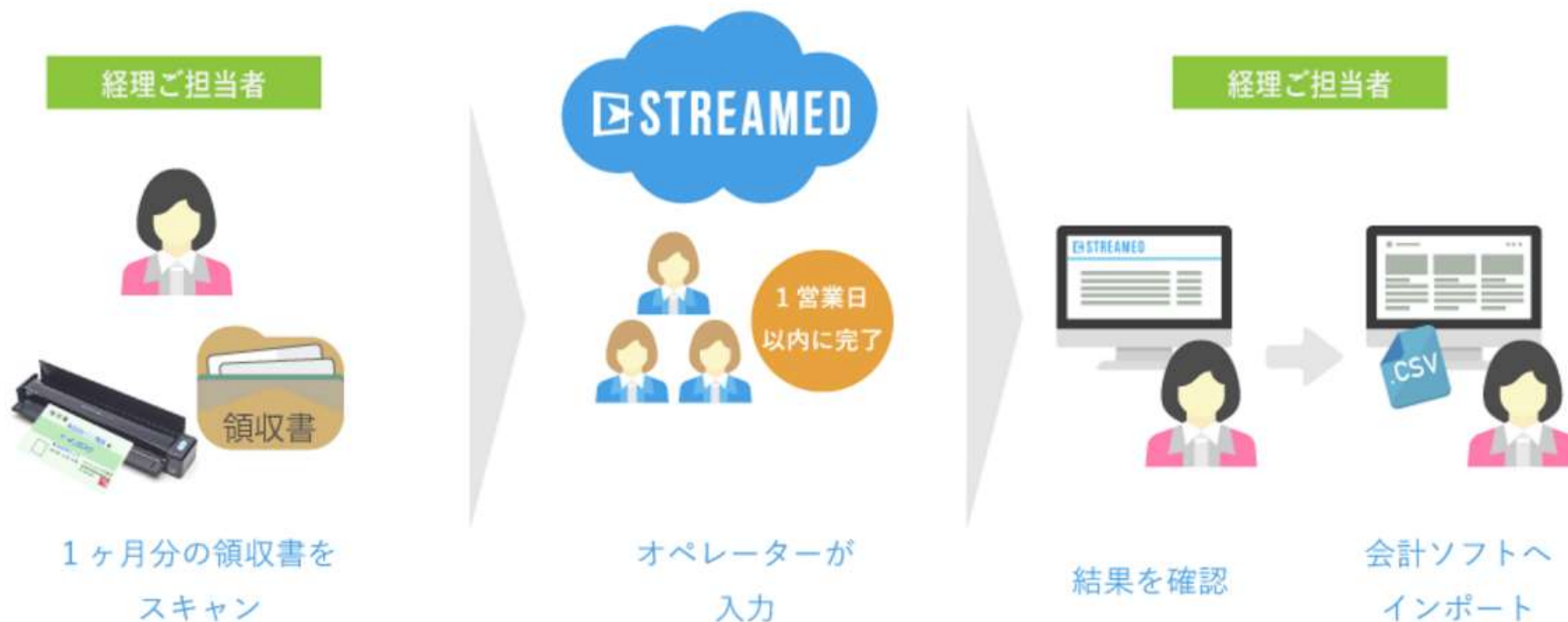
クラウドコンピューティングの普及を背景に、これまで多額の初期投資を必要としていたシステムをSaaS形態で提供することで、小規模事業者から大企業まですべての事業者へITの恩恵をもたらします。

スキャナで領収書等の画像を取り込むだけで、オペレーターが正確かつ迅速にデータ入力するクラウド記帳サービス。

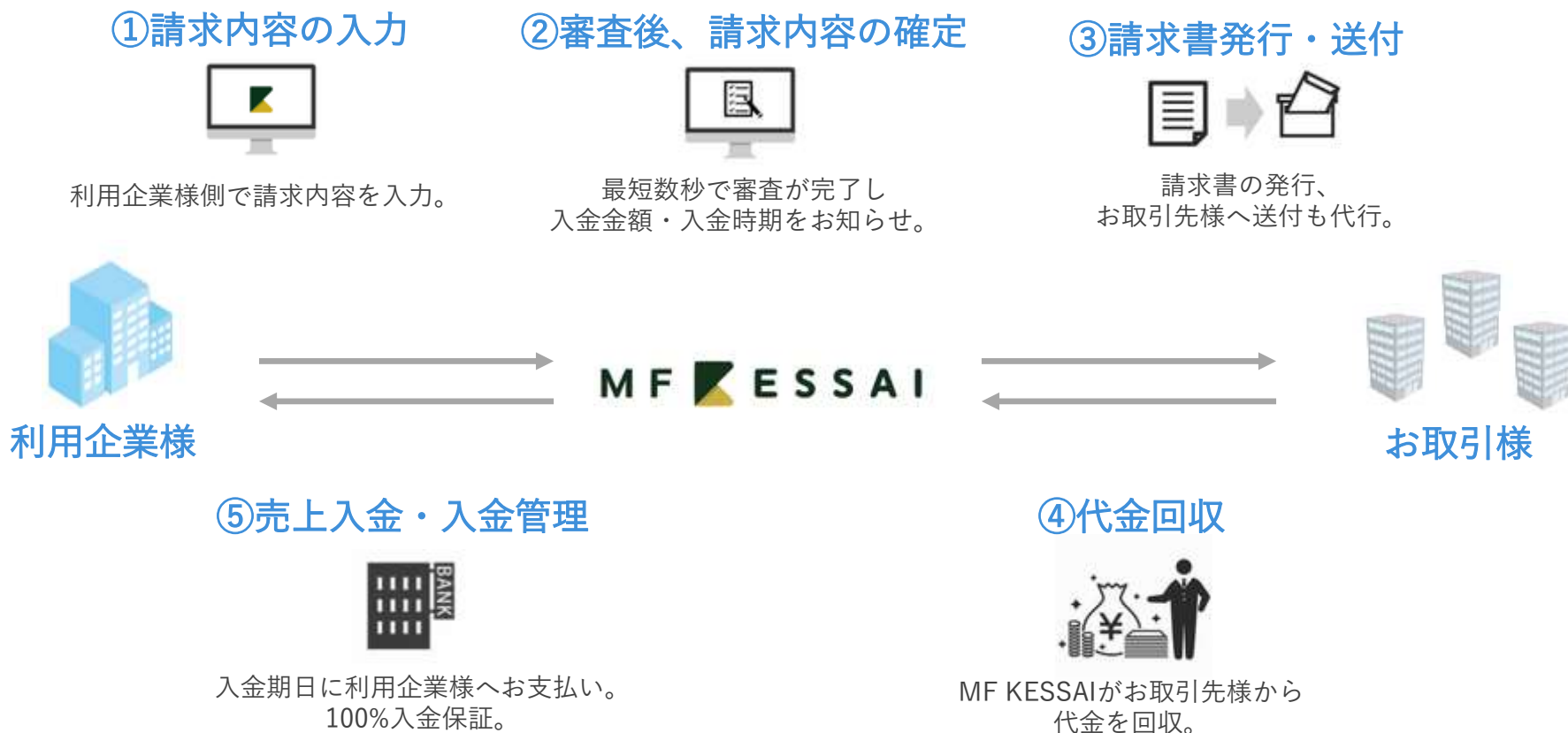
2017年11月にグループ化したクラビス社が提供。

取引データの収集

会計ソフトへの入力



企業の請求回収代行業務の完全なアウトソーシングと資金繰りの改善を実現するサービス。2017年6月リリース。



“未来のおかね”を学べるお店 『mirai talk』

17

『mirai talk』 1号店を新宿にオープン。『マネーフォワード』のデータと、FPの知見を組み合わせ、「お金の体質改善」を目指してライフプランや家計改善アドバイスを提供。



人生を楽しむ貯金アプリ『しらたま』

18

「日々の生活をもっと楽しく、ちょっとだけ贅沢に」というコンセプトの（しら）ずにお金が（たま）る自動貯金アプリ。



貯金を楽しもう、人生を楽しもう。

貯めかた1

気軽に
小銭から貯める

毎回300円からスタート



◎こんな方におすすめ
 貯金が届かず挫折してしまう
 ちょっと良い貯金額がわからない

貯めかた2

意識しないで
おつりを貯める

300円を払ったつり

 → 

460円 → 40円

◎こんな方におすすめ
 今まで貯金をしたことがない
 旅行口癖の残高が貯金

小銭を、ちょっとずつ。しらない間に貯まる。

2018年11月期
第1四半期 業績

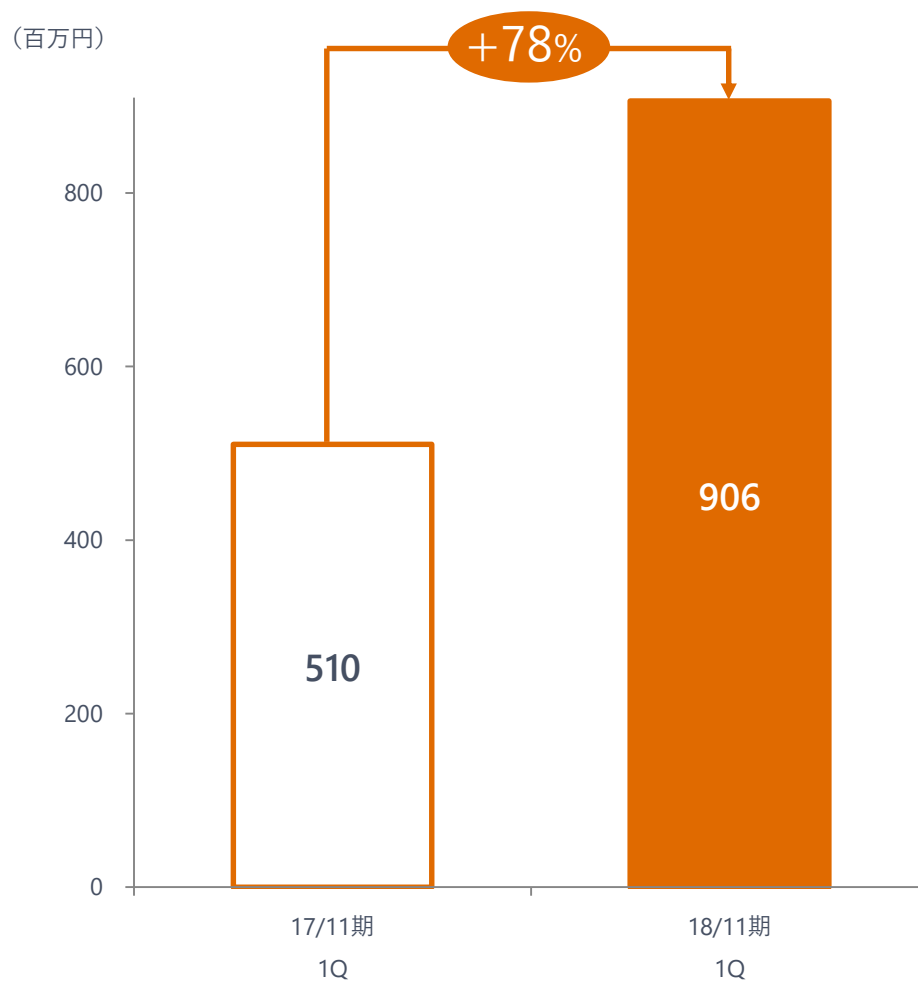


Money Forward

売上高(前年同期比)

20

連結売上高は前年同期比で**+78%**と急速に成長。



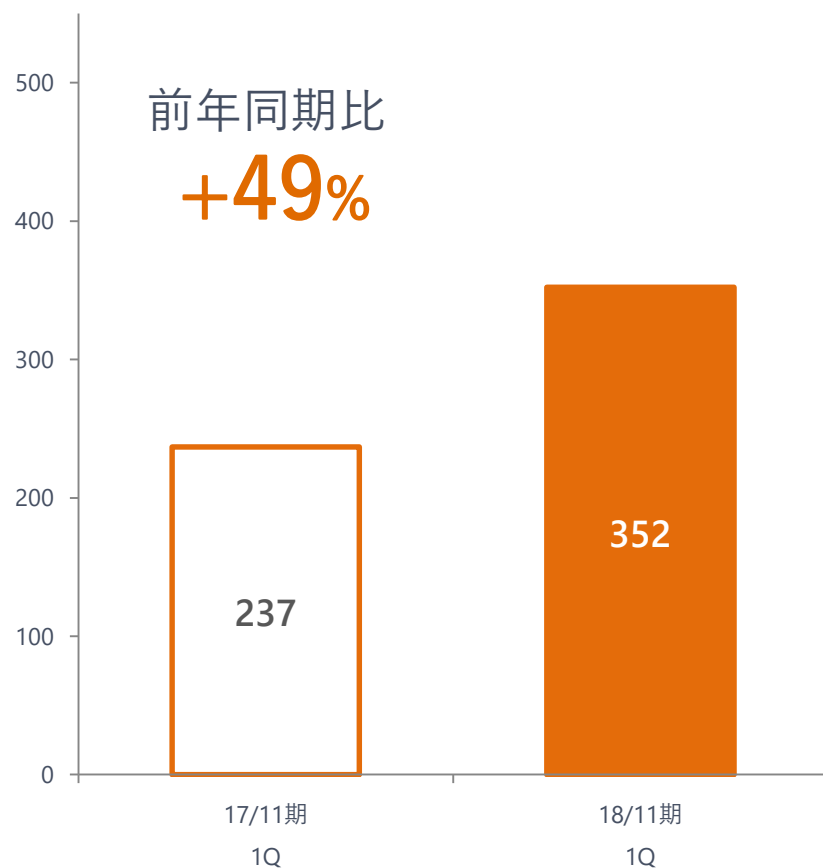
売上高(主要サービス別、前年同期比)

21

1QのPFMサービス売上高は+49%、MFクラウドサービス売上高は+102%と、前年同期から共に大きく成長。

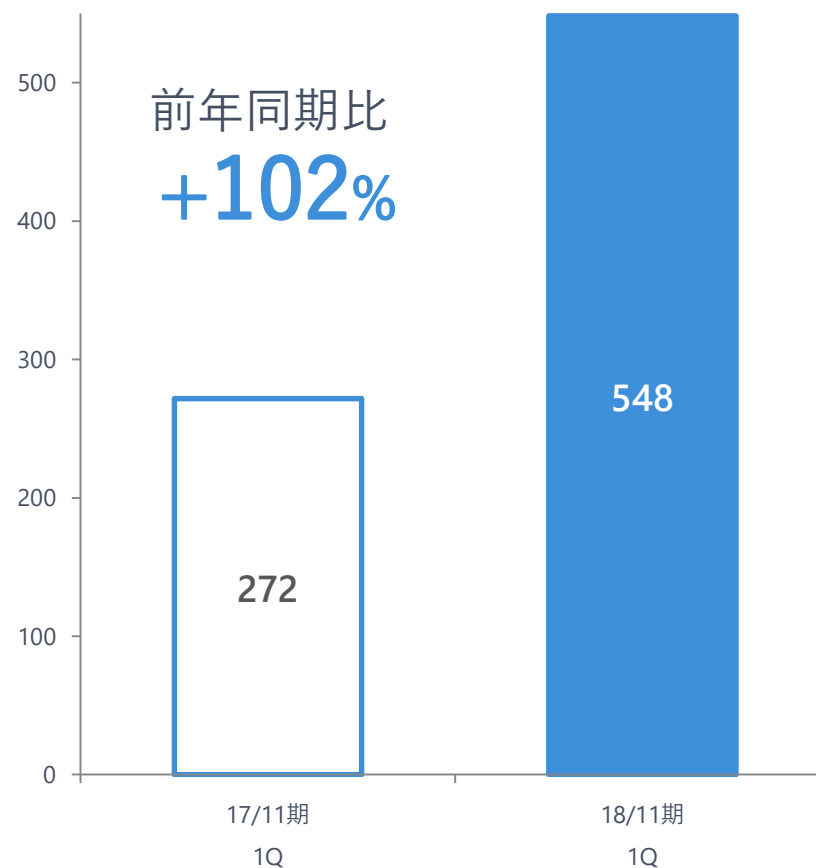
PFMサービス

(百万円)



MFクラウドサービス

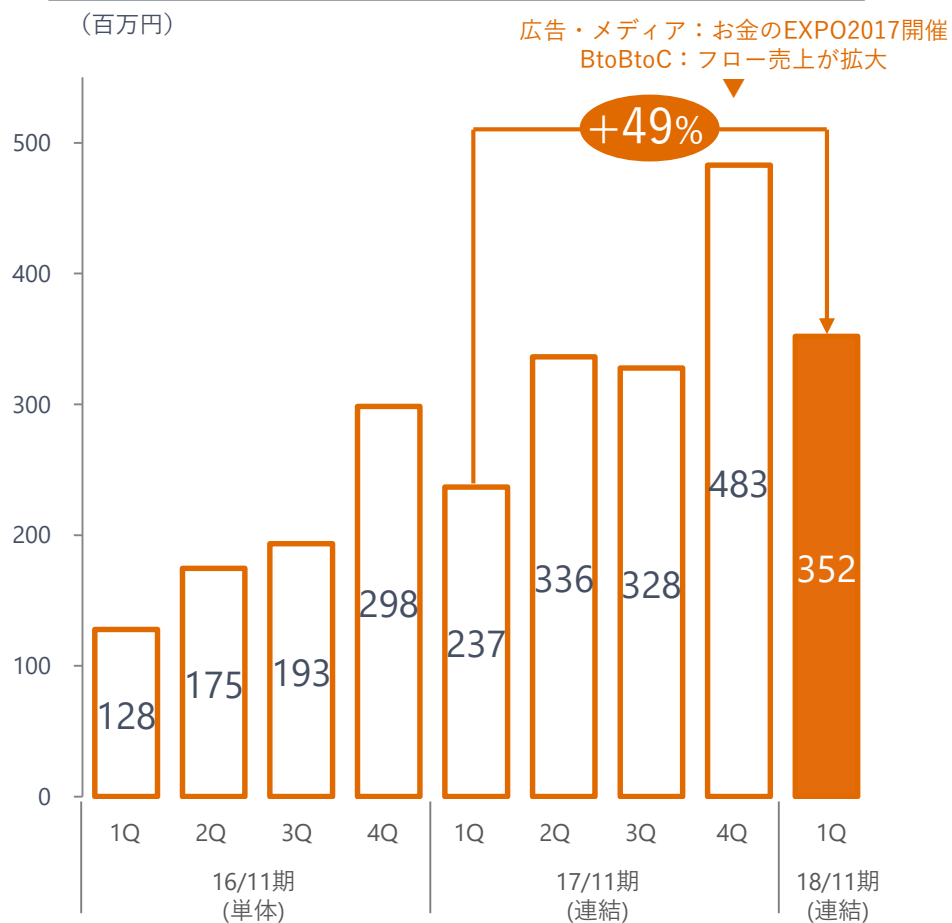
(百万円)



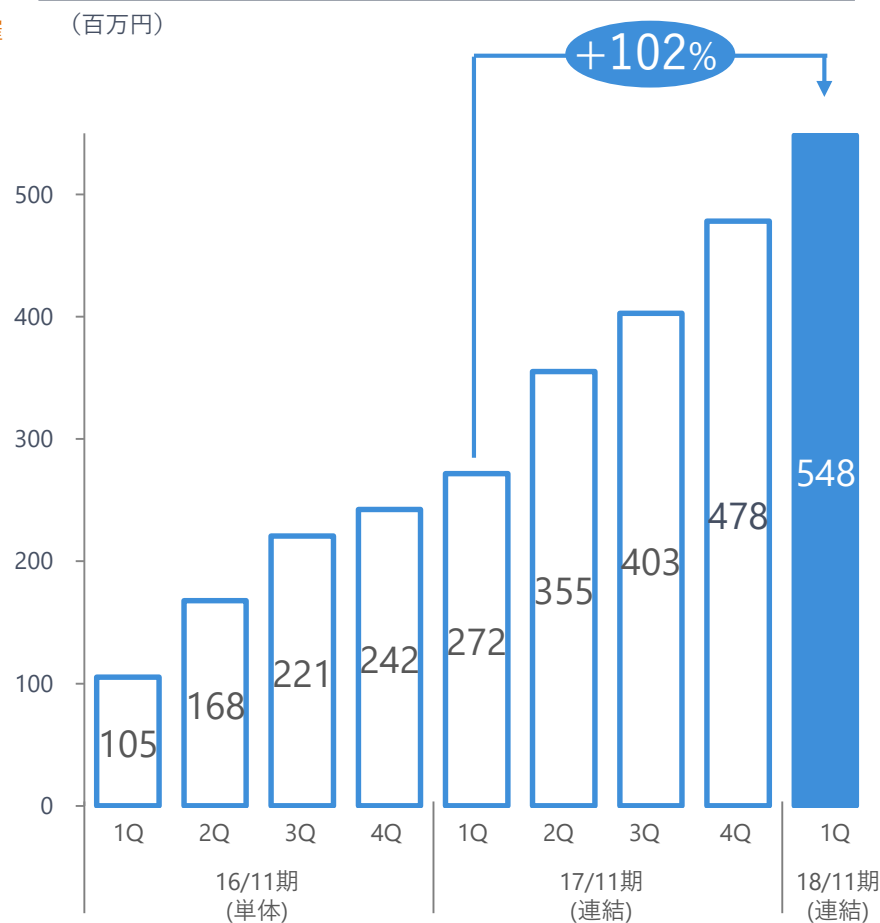
売上高(主要サービス別、四半期推移)

PFMサービスは前4Qにフロー売上が集中した為、売上高合計は前4Qからは減少しているが、ストック部分は順調に増加。MFクラウドサービスは過去最高の四半期売上高を記録。

PFMサービス



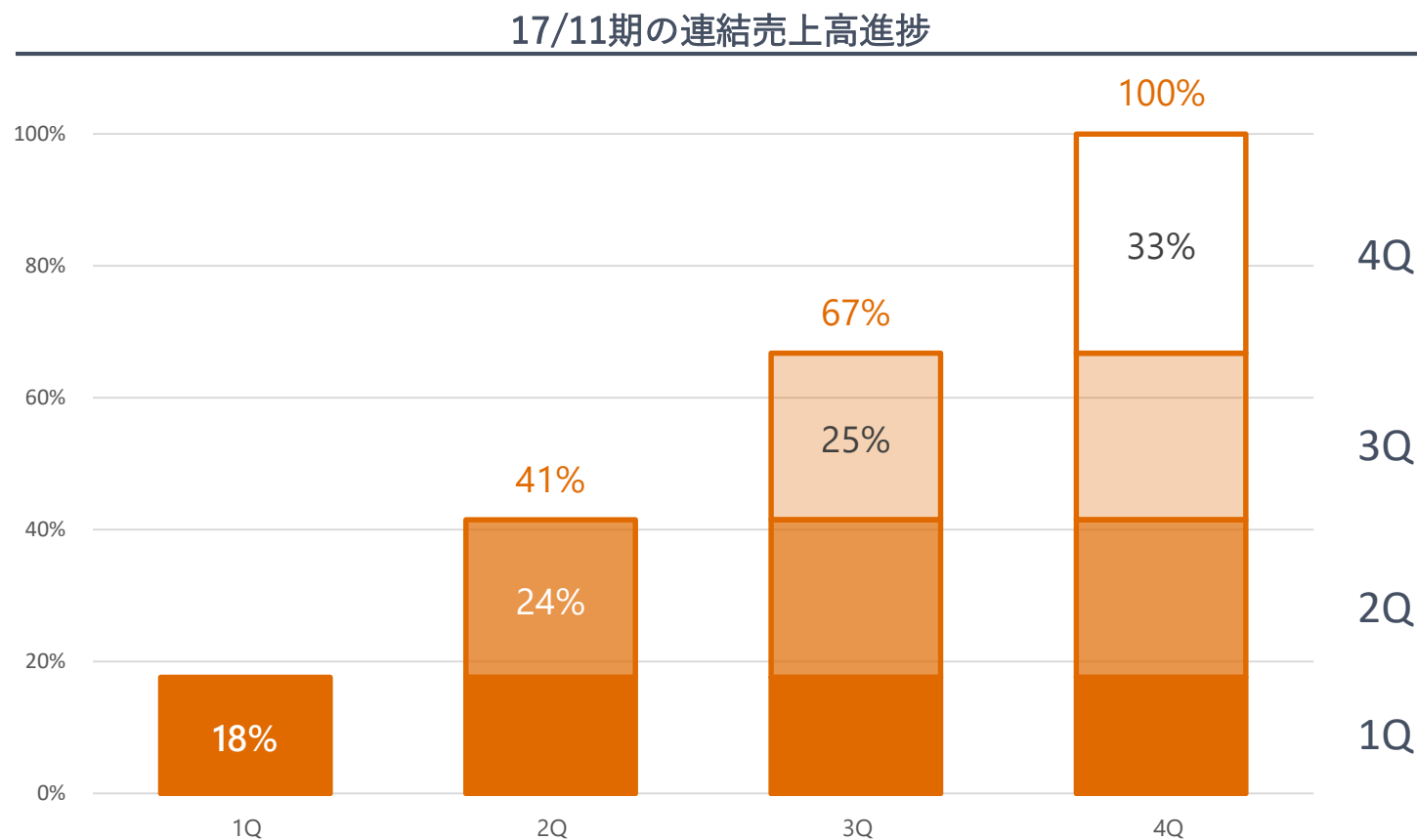
MFクラウドサービス



当社(SaaS型事業モデル)の売上高逓増イメージ

23

売上高の大半がストック型の売上であること、また、4Qにイベント等のフロー売上が集中することから、年度後半に向け売上が逓増する傾向。
当1Qの進捗率は19~21%※と、前1Q（18%）に比べ高い進捗率で推移。

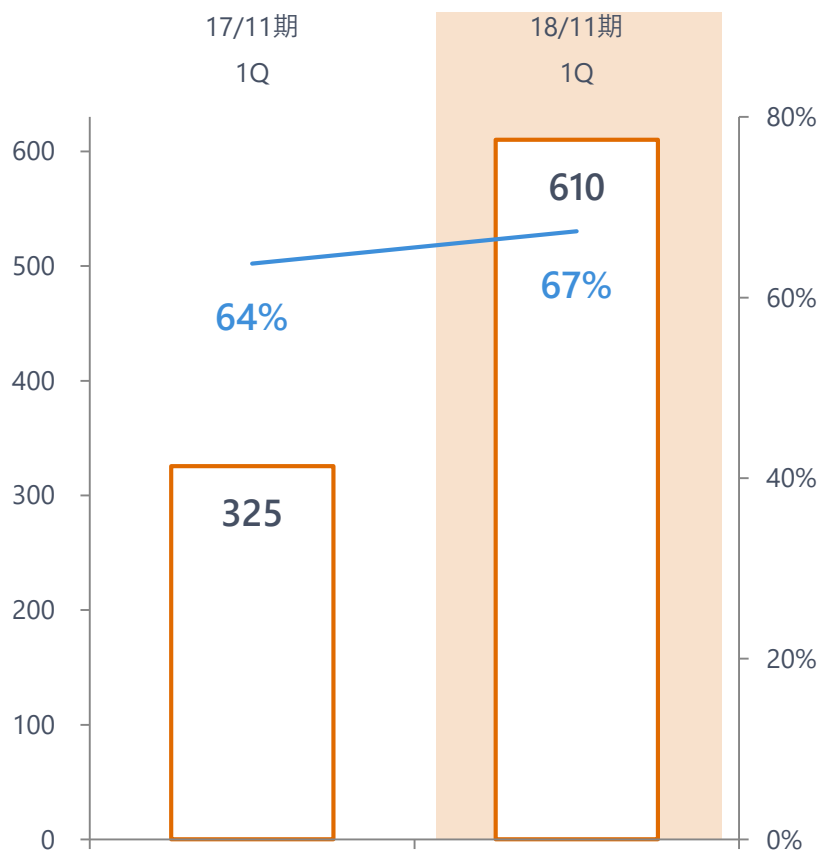


*当1Qにおける通期見直し進捗率は、下限（43.5億円）に対して21%、上限（46.5億円）に対して19%となっている。

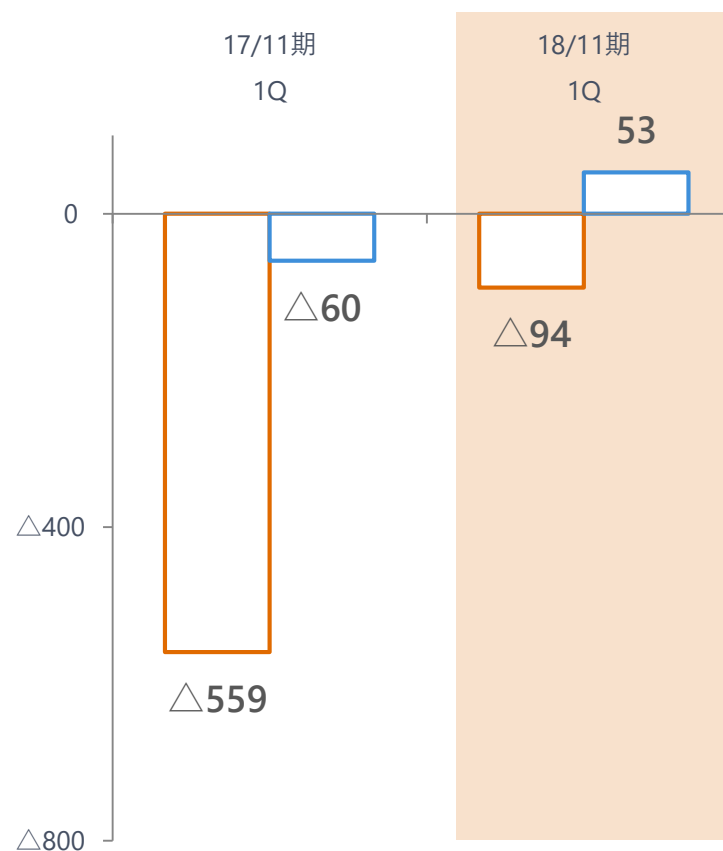
売上総利益 / EBITDA

売上総利益は前年同期比で1.9倍に増加し、売上総利益率も向上。
EBITDA、広告宣伝費を除くEBITDAはいずれも改善。

(百万円) □売上総利益 ■売上総利益率



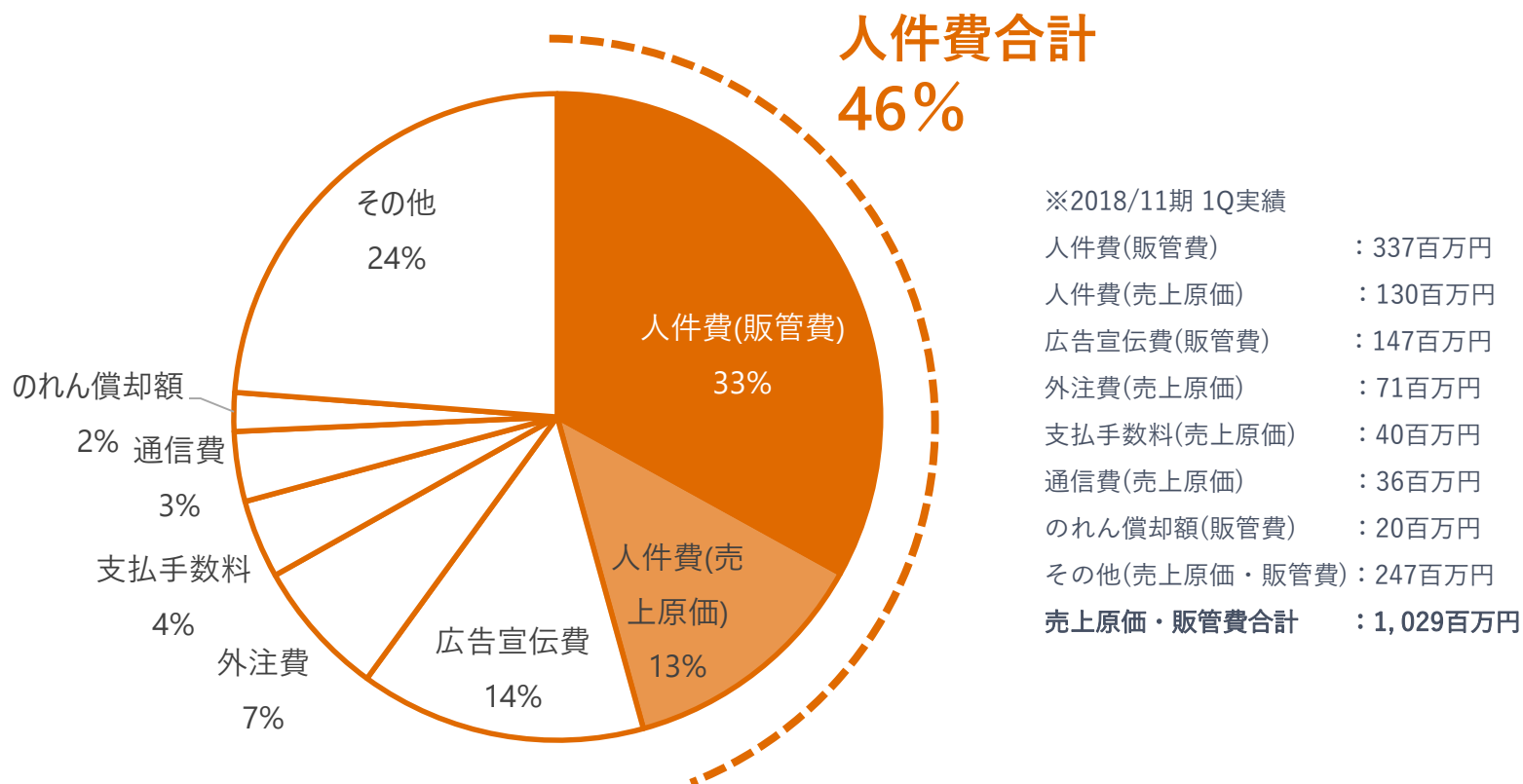
(百万円) □EBITDA □EBITDA(広告宣伝費除く)



*EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + のれん償却額

費用内訳(売上原価・販売費及び一般管理費)

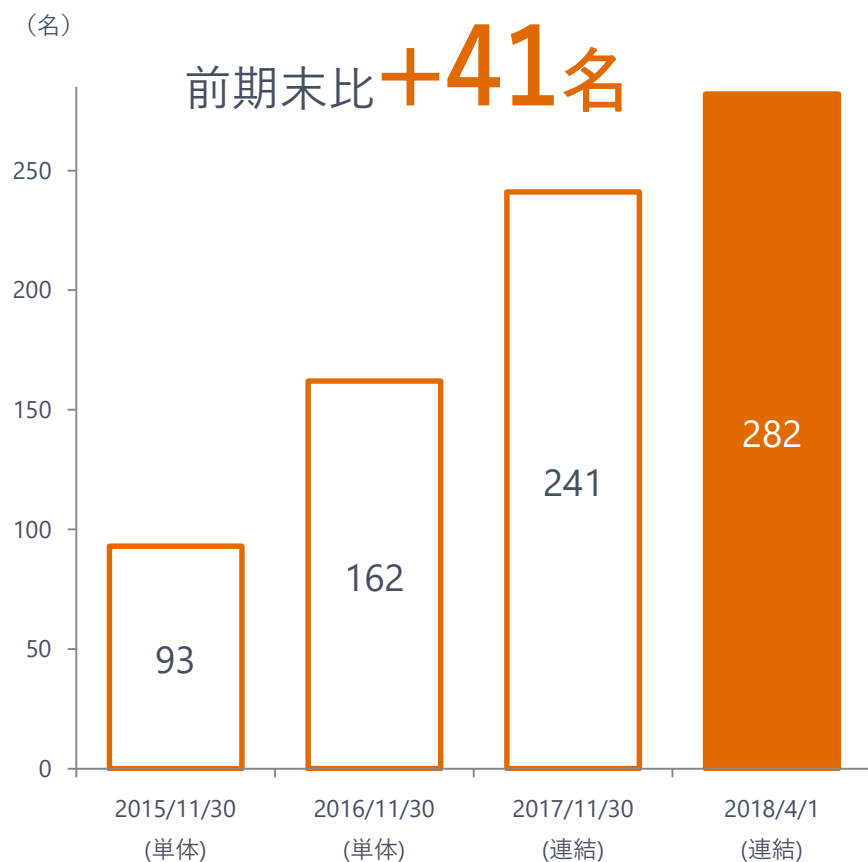
売上に直接的に連動する費用は限定的で、人件費が約5割を占める。当期より、クラビス社のグループ化に伴うのれん償却を開始。



正社員数の推移(連結ベース)

26

正社員数は2年半で約3倍に。将来の成長に向けて、当期も引き続き人財採用に注力。4月は新卒社員19名が入社。



PFMサービス



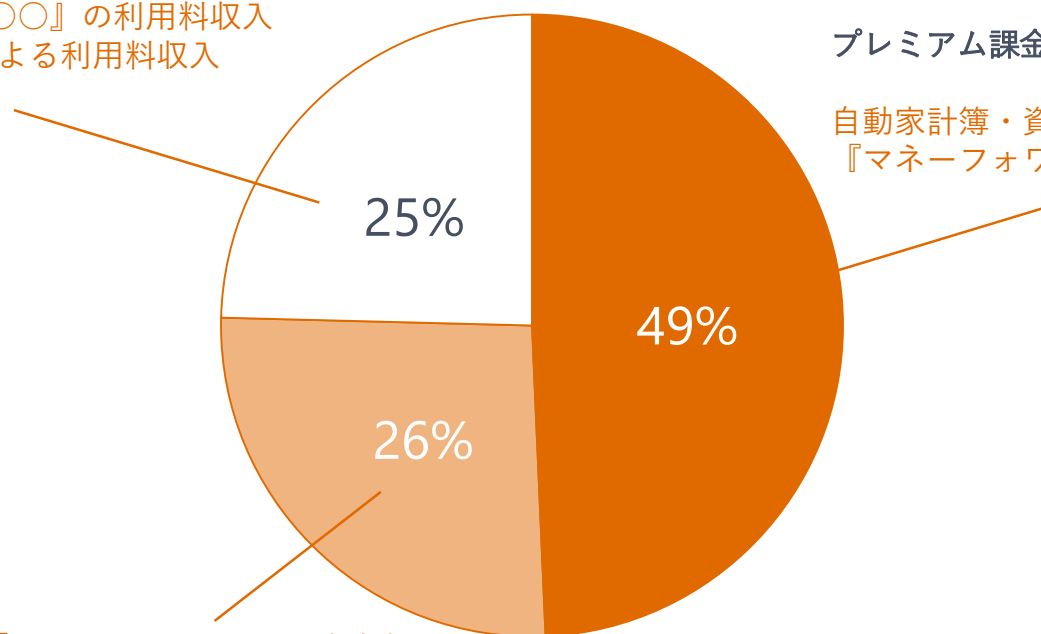
『マネーフォワード』の月額課金、メディア／広告収入、金融機関等利用者向けサービス提供と、3種類にわたりバランスが取れた収益構成。

BtoBtoC事業収入

- ・金融機関・事業会社運営サービス利用者向け『マネーフォワードfor〇〇』の利用料収入
- ・事業会社へのAPI提供による利用料収入

プレミアム課金収入

自動家計簿・資産管理サービス『マネーフォワード』の月額課金



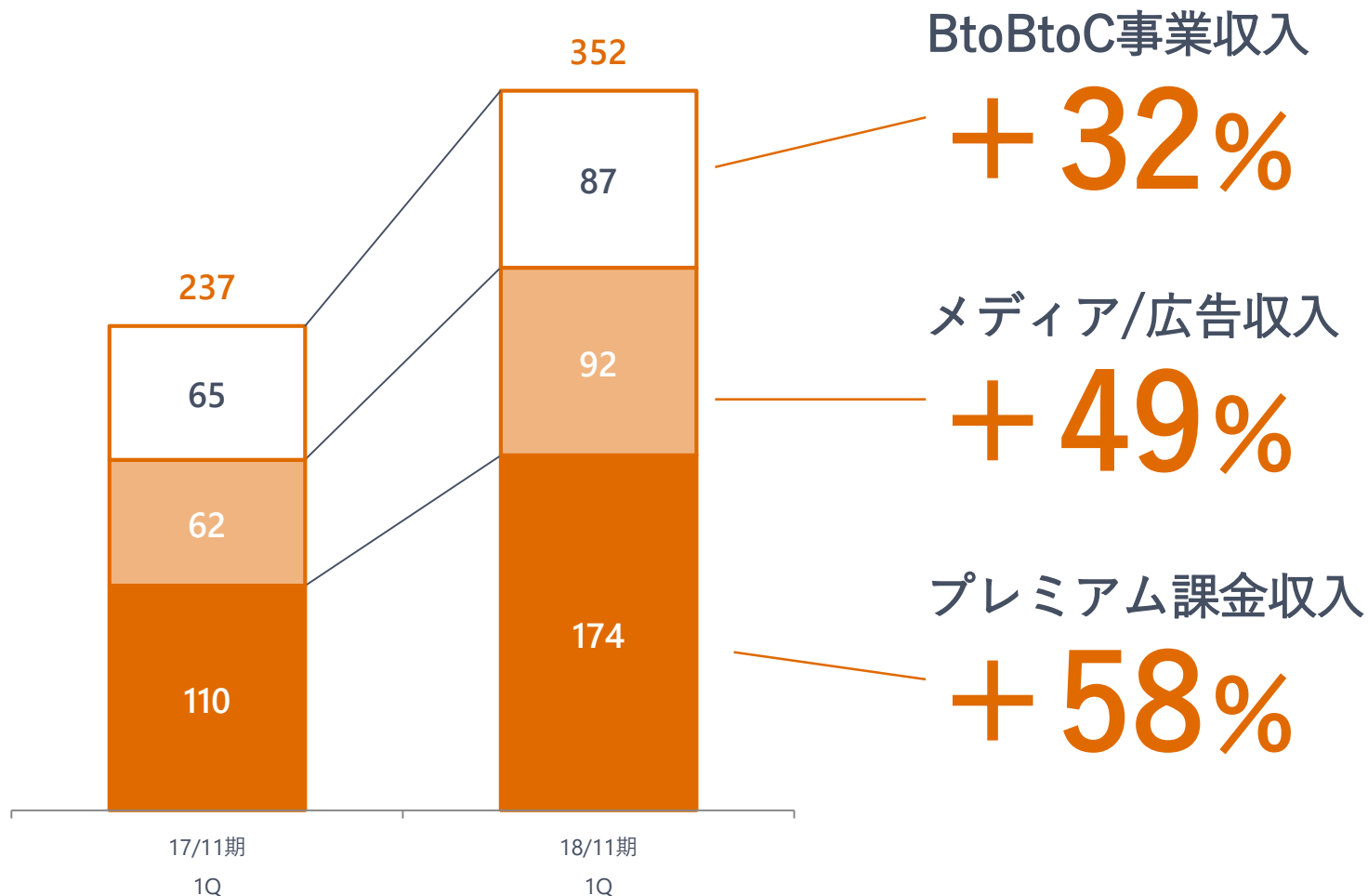
メディア／広告収入

- ・くらしの経済メディア『MONEY PLUS』での広告収入
- ・イベント（お金のEXPO）や、セミナー（不動産、401kなど）開催におけるイベント収入

PFMサービス売上高

全てのカテゴリで堅調な成長を持続。特に、ストック型の売上であるプレミアム課金収入が高い成長率を達成。

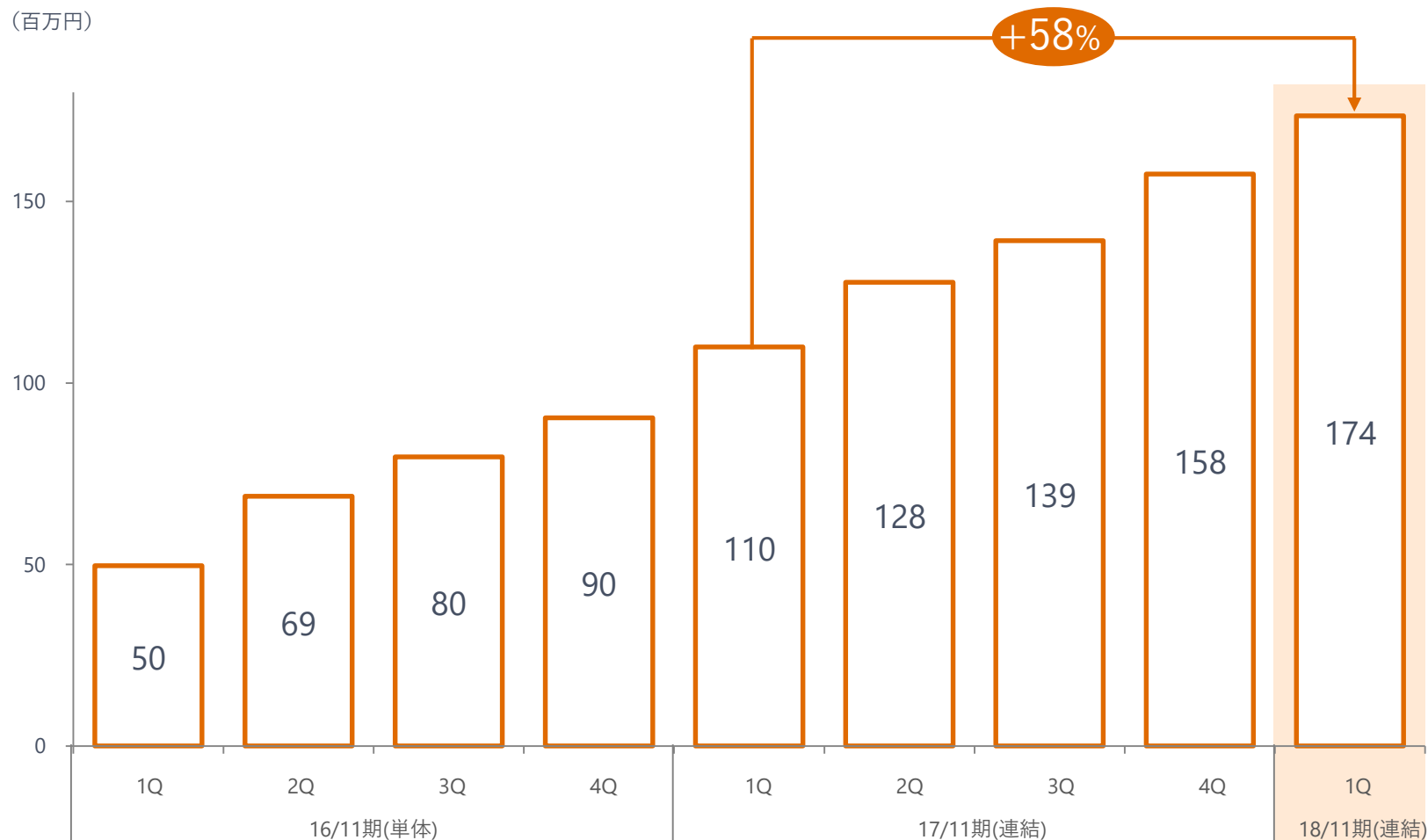
(百万円) ■プレミアム課金収入 ■メディア/広告収入 □BtoBtoC事業収入



プレミアム課金収入(売上高推移)

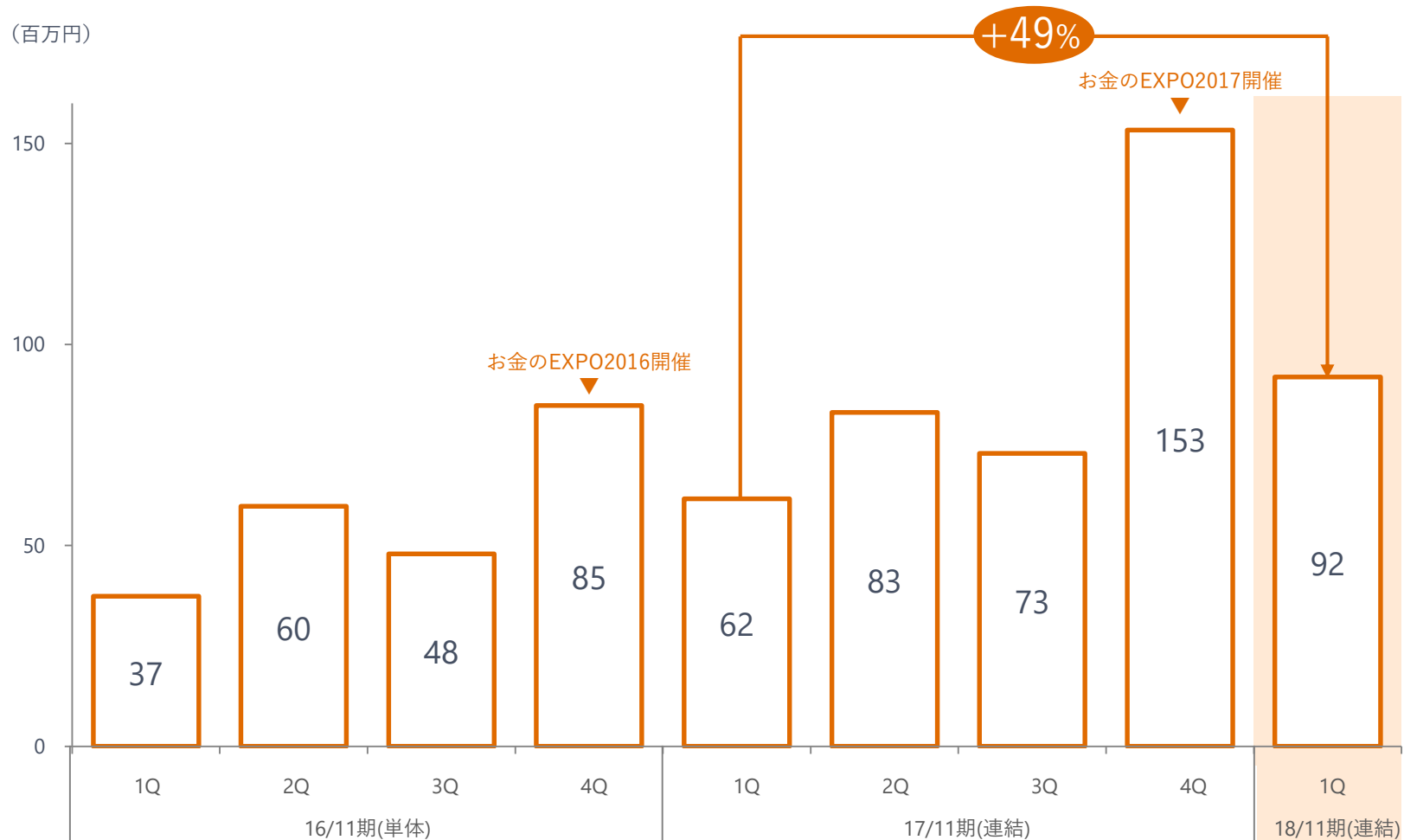
30

課金ユーザー数は着実に増加し、13万人を突破。(2018年2月末時点)
売上高は前年同期比で58%増と大きく成長。



メディア／広告収入(売上高推移)

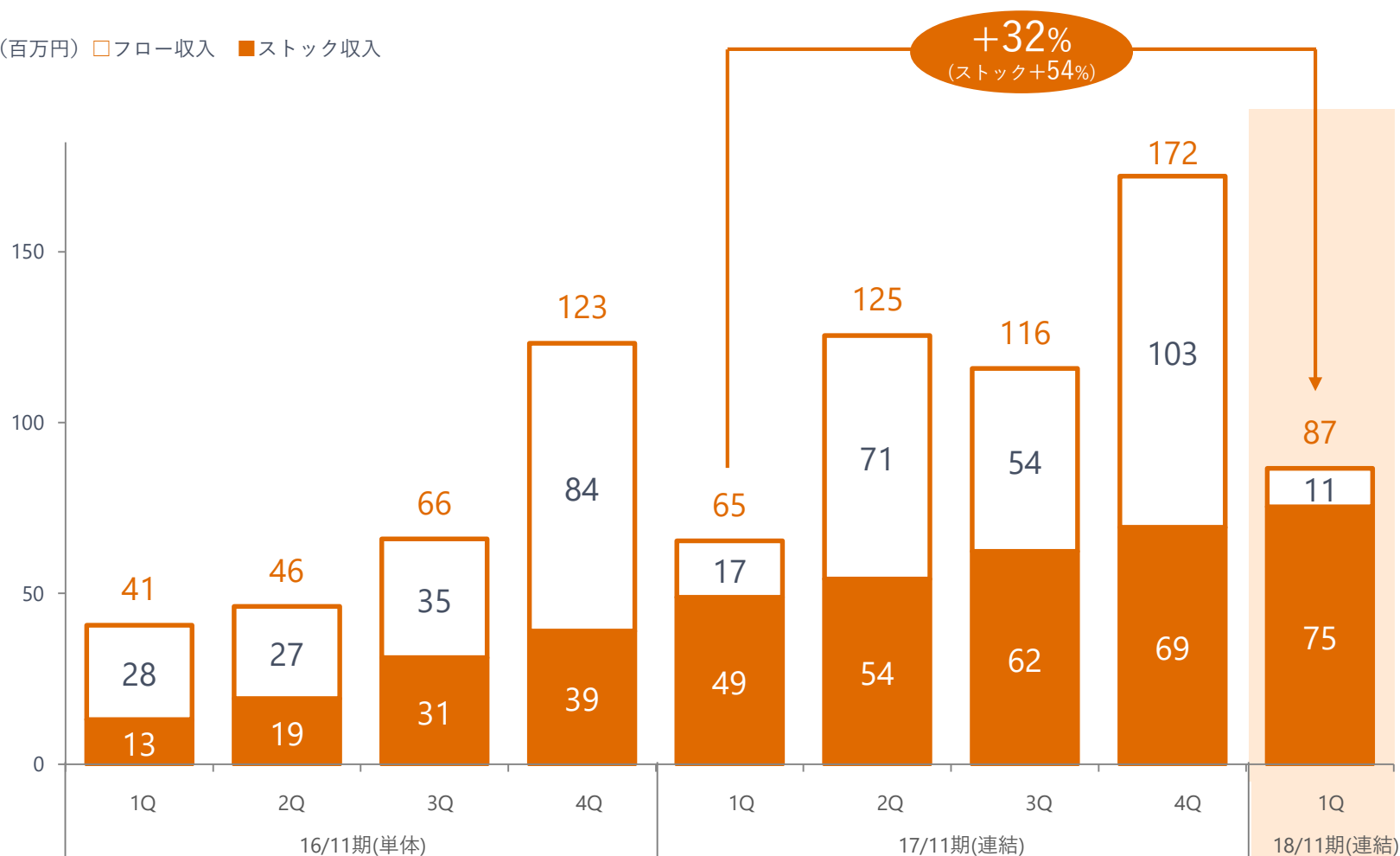
前4Qはイベントの協賛金収入が発生したため、前4Q比では減少するも、通常の広告収入は好調に推移し、前年同期比で+49%と大きく成長。



BtoBtoC事業収入(売上高推移)

フロー収入は納品タイミングの関係上、当1Qは比較的少額に留まったものの、サービス提供先の増加によりストック収入は順調に増加。

(百万円) □フロー収入 ■ストック収入



プレミアム課金(相互送客取り組み強化)

33

『マネーフォワード』連携サービスとの相互送客の取り組みを強化。
1Qでは、bitFlyer、Kyash、Pontaの3サービスとキャンペーンを実施。



プレミアム課金(利用者との交流会『SHIP』)

34

『マネーフォワード』利用者と当社社員の交流会『SHIP』を開催。利用者の視点をサービス作りに生かすことで、利用者数の増加・ロイヤリティの強化を目指す。



メディア／広告(新サービス『Money Forward Mall』) 35

金融サービスの比較検討・申込プラットフォーム『Money Forward Mall』を5月から提供予定。提携金融機関を順次拡充し、利用者に最適な金融サービスを届ける。

The screenshot displays the Money Forward Mall website interface. At the top, the logo 'Money Forward Mall' is visible alongside navigation links for 'MALLについて', 'ご利用ガイド', 'よくある質問', 'お問い合わせ', and 'お問い合わせ先'. The main banner features a photograph of a smiling woman and a man in a retail setting, with the text '新生活にオススメの商品特集' and a sub-headline: '新生活、何かを買おうと決めるには良い季節ですね。この特集では、初心者の方にも取りやすい商品を一挙にご紹介します。' Below the banner, a date range '掲載期間：2018年3月1日(水) 10:00 - 2018年4月19日(木) 9:59' is shown. The main content area is a grid of ten credit card offers, each with a card image and key details:

| カード名 | 年会費 | 初年度年会費 | 還元率 |
|----------------------|--------|--------|-------|
| 楽天カード | 1,000円 | 0円 | 1%~2% |
| TOKYU CARD ClubQ JMB | 2,000円 | 0円 | 1%~2% |
| ビューカード | 0円 | 0円 | 1%~2% |
| ビックカメラSuicaカード | 0円 | 0円 | 1%~2% |
| ANA To Me CARD | 1,000円 | 0円 | 1%~2% |
| PASMO JCB (ソラチカ) | 0円 | 0円 | 1%~2% |
| セゾンカード | 1,000円 | 0円 | 1%~2% |
| セゾンカードインターナショナル | 1,000円 | 0円 | 1%~2% |
| 海軍カード | 0円 | 0円 | 1%~2% |
| ビューカード | 0円 | 0円 | 1%~2% |
| コスモ・ザ・カード・クラブ | 0円 | 0円 | 1%~2% |
| イオンカードセレクト | 0円 | 0円 | 1%~2% |
| アメリカン・エキスプレス・カード | 1,000円 | 0円 | 1%~2% |
| JALカード 標準カード | 0円 | 0円 | 1%~2% |
| P-onyカード CStandard | 0円 | 0円 | 1% |

新たにみずほ銀行、栃木銀行、大光銀行のお客様向けのサービスの開始を決定。

MIZUHO

- ・ マネーフォワード for <みずほ> (3月リリース)



栃木銀行

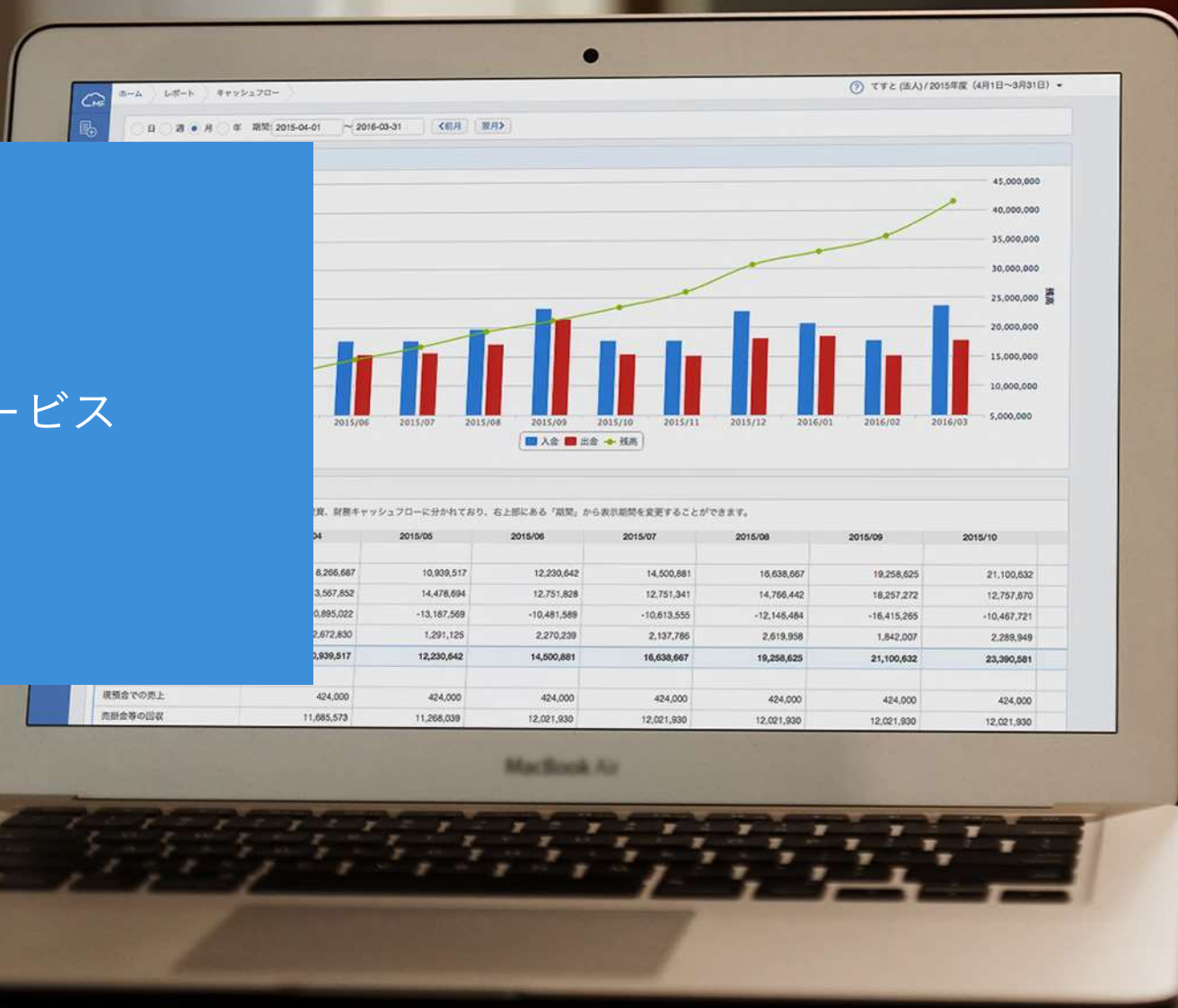
- ・ マネーフォワード for 栃木銀行 (3月リリース)
- ・ かんたん通帳 (3月リリース)



大光銀行

- ・ MF Unit 資産管理機能 (5月リリース予定)
- ・ かんたん通帳 (5月リリース予定)

MFクラウドサービス



MFクラウドサービスの収益構成

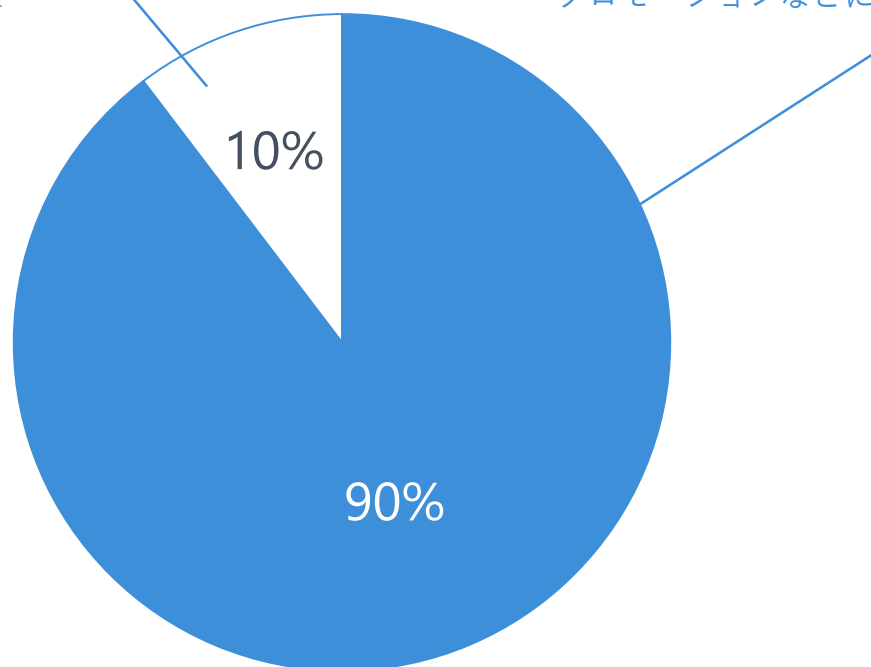
WEBサイトでの販売、会計事務所や事業者への販売収入が9割。

アライアンス事業収入

- ・ 各業界を代表する会社に向けたOEM等の提供
- ・ MFクラウドExpoなどのイベント開催

MFクラウドシリーズ販売収入

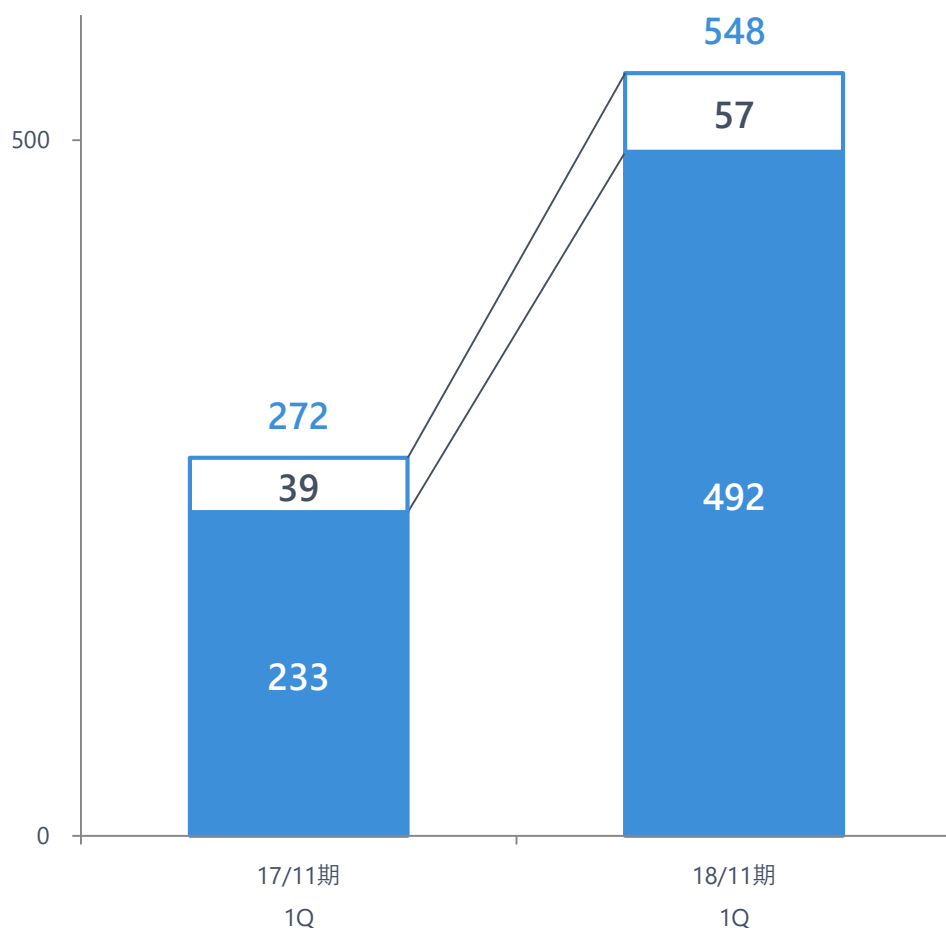
- ・ 事業者への直接販売、会計事務所などへの販売
- ・ プロモーションなどによるWEBでの販売



MFクラウドサービス売上高

MFクラウドシリーズ販売収入が前年同期比+111%と大きく成長。

(百万円) ■MFクラウドシリーズ販売収入 □アライアンス事業収入



アライアンス事業収入

+ 45%

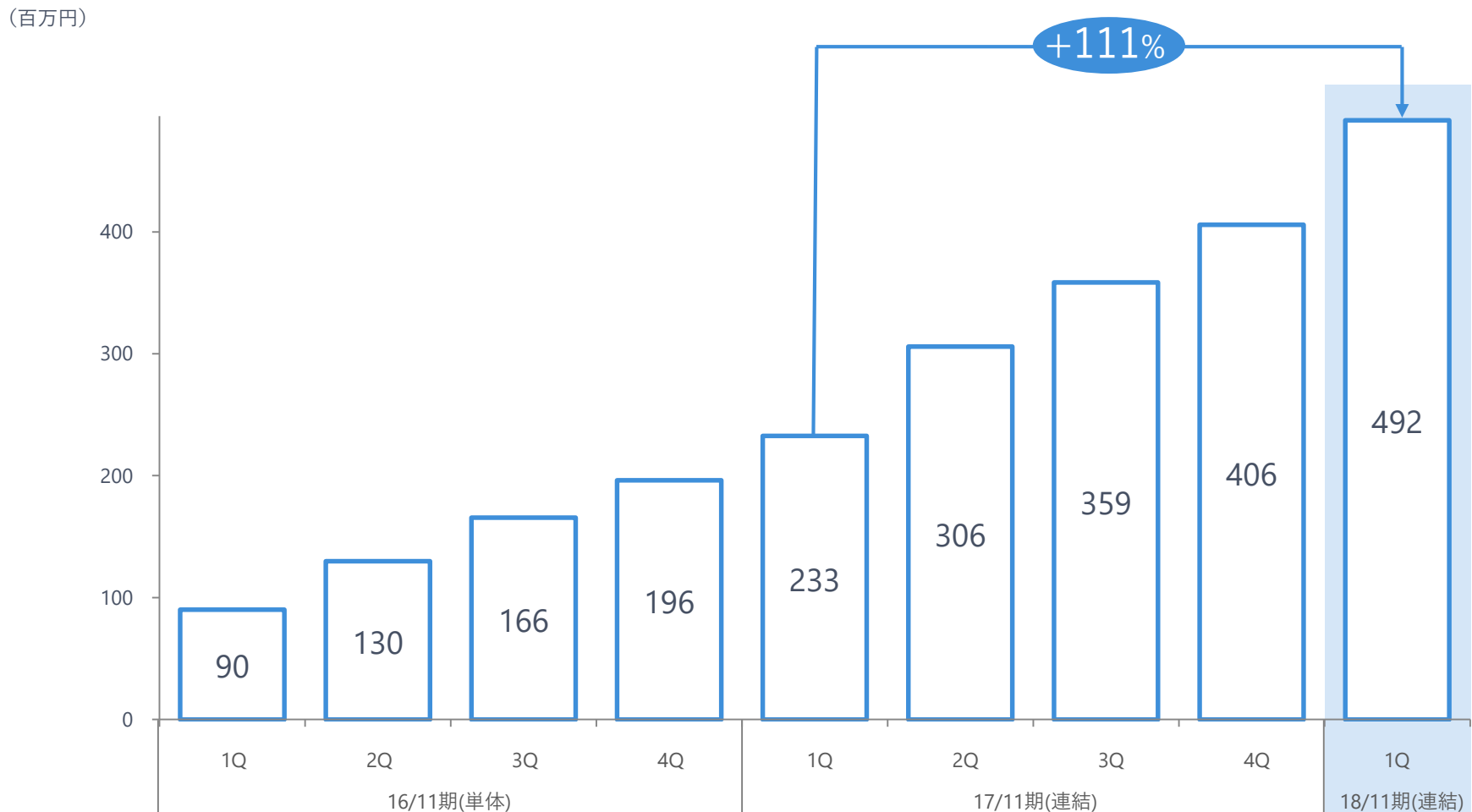
MFクラウドシリーズ
販売収入

+ 111%

*2017年11月にグループ化したクラビス社が提供する『STREAMED』を、当期よりMFクラウドシリーズ販売収入として計上開始。

MFクラウドシリーズ販売収入(売上高推移)

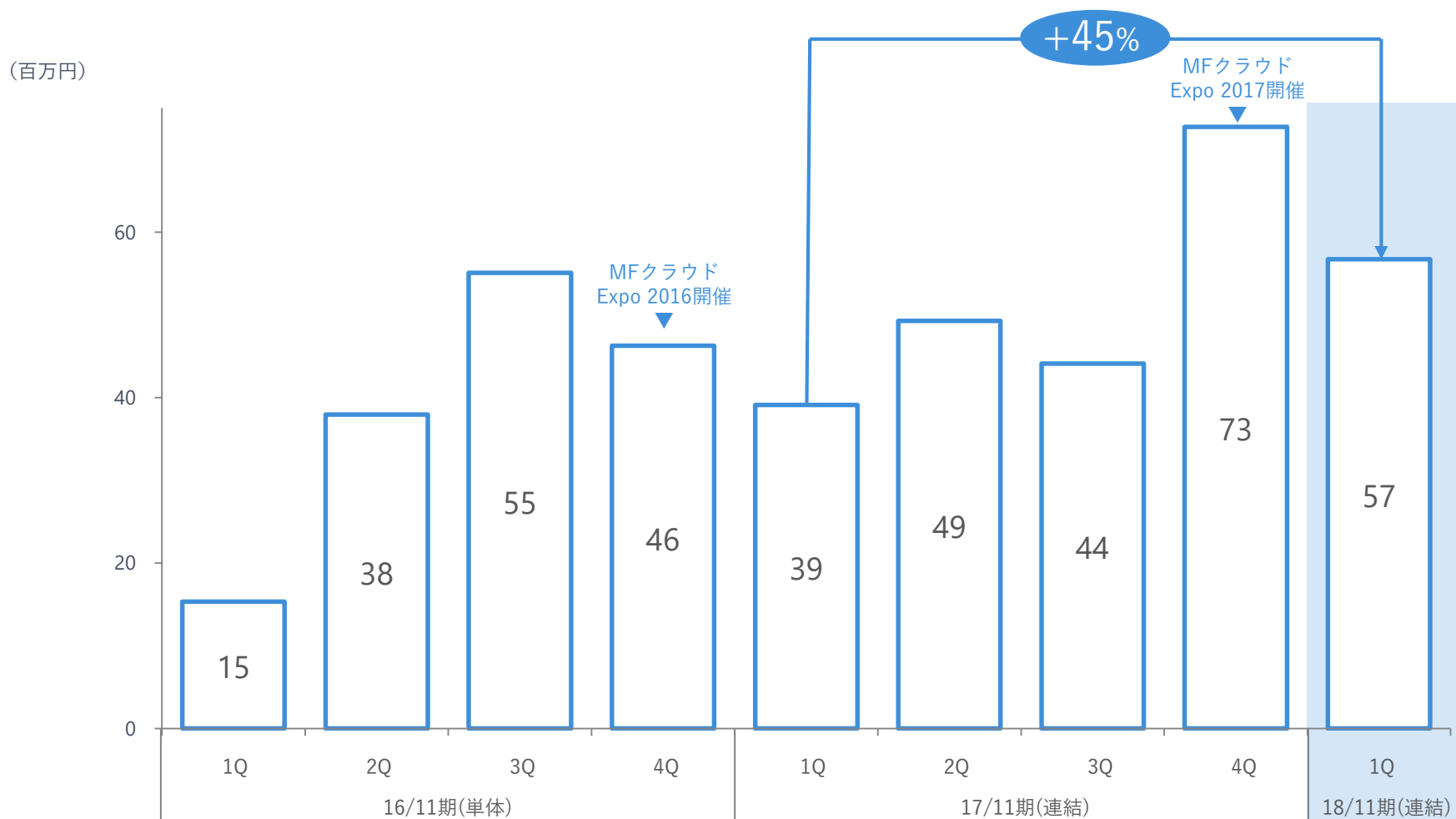
『MFクラウドシリーズ』の着実な成長に加え、前期末にグループ化したクラビス社のクラウド記帳サービス『STREAMED』の収入も貢献。



*2017年11月にグループ化したクラビス社が提供する『STREAMED』を、当期よりMFクラウドシリーズ販売収入として計上開始。
『STREAMED』はデータ化した証憑のデータ量に応じた売上変動部分が含まれる。

アライアンス事業収入(売上高推移)

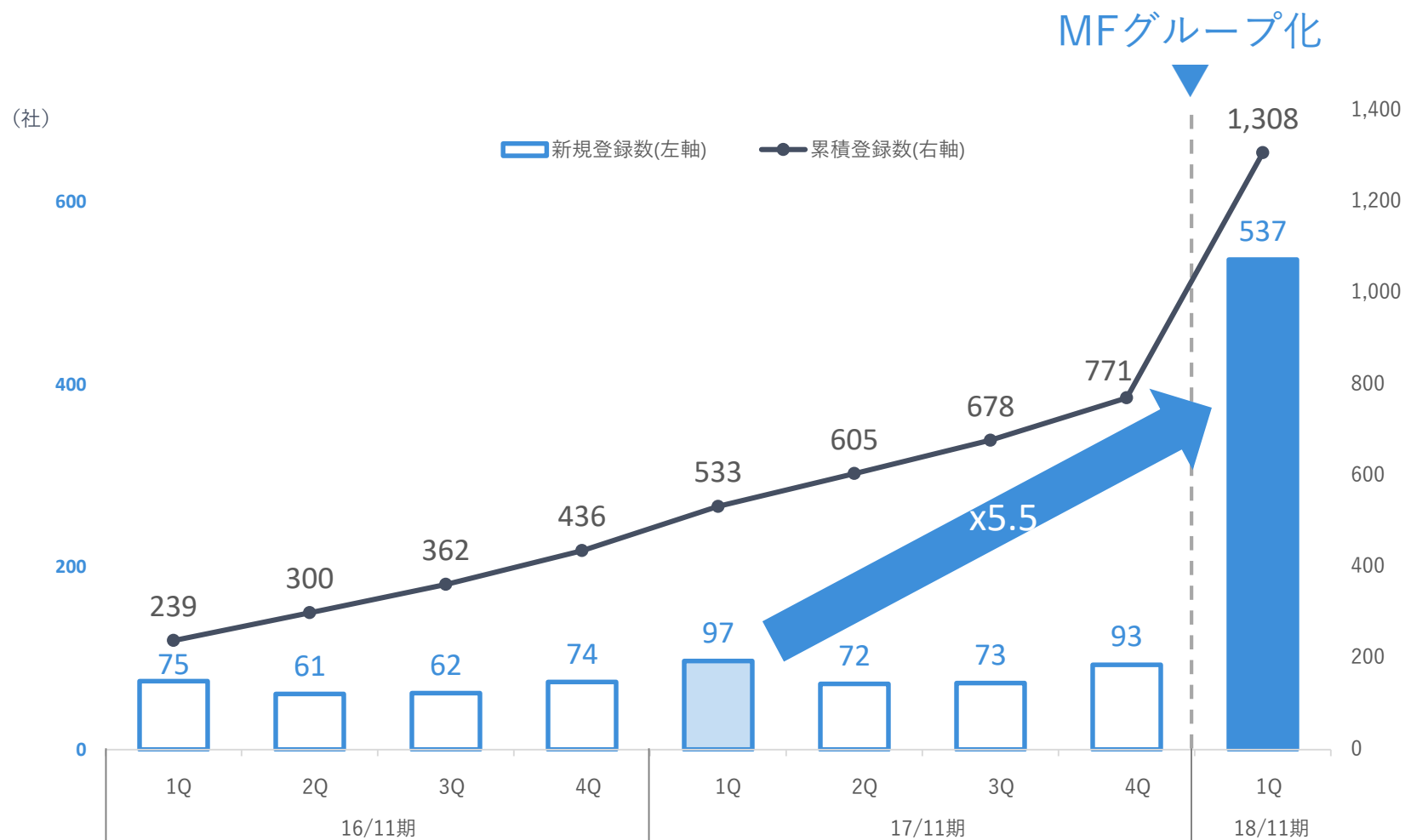
前4Qはイベントの協賛金収入が発生したため、前4Q比では減少するも、開発一時売上の計上等により前年同期比で+45%に成長。



MFクラウドシリーズ(クラビス社PMIが順調に進捗)

42

グループ化したクラビス社とのシナジーが顕在化。当社の営業網活用により、『STREAMED』の新規登録会計事務所数は前年同期比5.5倍に増大。



* 株式会社マネーフォワードの決算期に合わせ、会計事務所プラン仮登録の累計登録数をカウント。

アックスコンサルティング社が提供する『ハイブリッド会計Crew(クルー)』及び『Crewシリーズ』の事業譲受について合意し、4月より移行サポートを開始。ユーザー基盤の更なる強化につなげる。



×



MFクラウドシリーズ(『ネットde会計』ユーザー移管) 44

クラウド会計ソフト『ネットde会計』のサービス終了(2018年5月末)に伴い、提供元のパイプドビッツ社と連携し『MFクラウド』へのシームレスなユーザー移行を支援。

ネットde会計

×

 MFクラウド

MFクラウドシリーズ(他社サービスとの新規連携)

45

ユーザーの利便性向上のため、Connected HR構想を加速。
新たに『カオナビ』と『イーシアZero』とのAPI連携が可能に。

マネーフォワード、「MFクラウド給与」と
タレントマネジメントや労務管理サービスとのAPI連携を強化



中小企業の生産性向上を目指し、ITツール導入をサポートするIT導入補助金予算は昨年の5倍の500億円に。

当社においても、全国でのセミナー開催などプロモーションを強化し、中小企業の生産性向上への更なる貢献を目指す。

IT導入補助金で「MFクラウドシリーズ」等の
導入費用が最大**50万円まで補助**されます

昨年14,301社が採択された「IT導入補助金」。今年は昨年の9倍、13.5万社への採択を目指しています。

IT導入補助金

平成29年度補正
サービス等生産性向上
IT導入支援事業



MFクラウド

by Money Forward

確定申告対象者の支援の強化のため『仮想通貨申告サポートプログラム』や『確定申告カフェ』を提供。

『仮想通貨申告サポートプログラム』

マネーフォワード、Aerial Partnersと『仮想通貨申告サポートプログラム』を開始
～認定仮想通貨税理士が損益計算、申告書作成、資産形成に関するアドバイスなどを実施～



『確定申告カフェ』



A photograph of a modern office interior. In the foreground, there is a light-colored wooden table with two light blue chairs on wooden legs. Behind the table is a long wooden shelving unit with various decorative items, including a small statue and a plant. To the right, there is a glass partition with a textured pattern. The ceiling has two pendant lights and a recessed light fixture. The overall atmosphere is bright and clean.

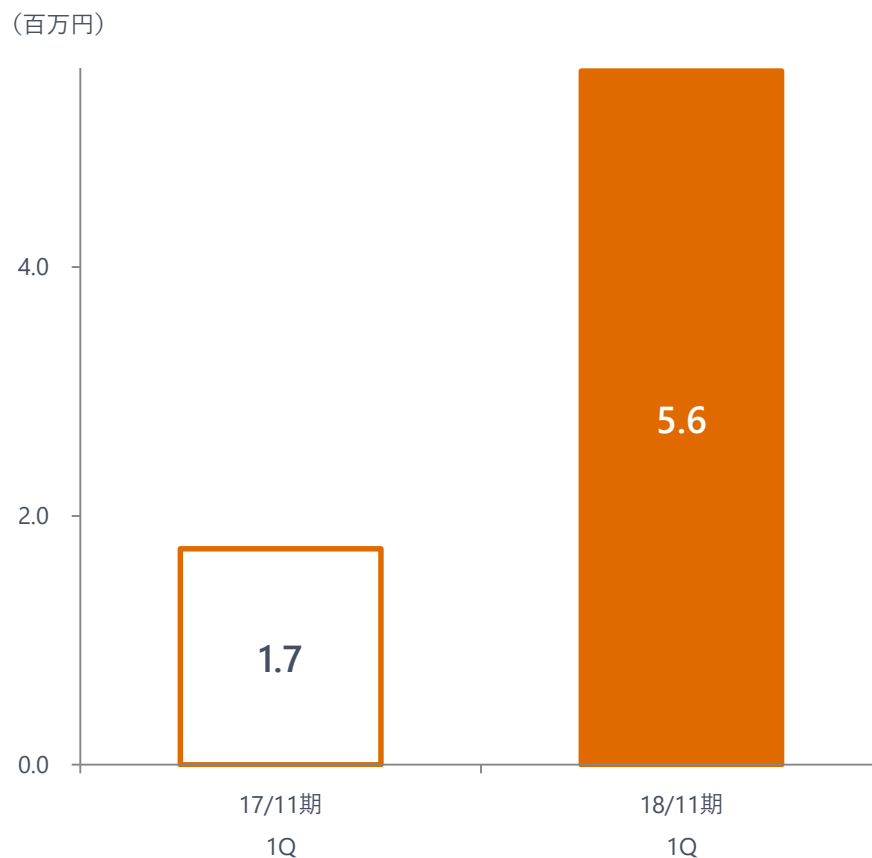
新規サービスその他

新規事業その他売上高

49

『MF KESSAI』の収益貢献がスタート。

前年同期比 **+221%**



*グループ会社であるMF KESSAI、mirai talkは9月期決算のため、2017年10月～12月実績。なお、上記売上にはMF KESSAI、mirai talk以外の売上も含む。

2Q以降本格的な売上貢献に向け、サービス導入社数を着実に伸ばす。
早期入金サービスをスタートさせ、更に便利に。

これまでの主な導入実績

『MF KESSAI』と『ホテル番付』とのAPI連携を開始



『ホテル番付』で法人の「請求書払い(後払い)」が可能に

『MF KESSAI』と『スペースマーケット』とのAPI連携を開始



『スペースマーケット』で法人の「請求書払い(後払い)」が可能に



株式会社久松農園さま

代表 久松 達也 様

請求業務はMF KESSAIに任せて、人は畑へ。
これは画期的なサービスです！



株式会社favyさま

任担当 藤中 利雄 様

業態に応じた柔軟な対応をしていただき、全請求
業務を外注できるようになりました。



株式会社ニューエッジさま

代表取締役社長 山本 和也 様

請求業務が不要になり、品質向上に集中できるよ
うになりました。

MF KESSAI(『SHIFT KESSAI』発表)

51

ソフトウェアの品質保証サービス大手事業者 SHIFT社と業務提携。
SHIFT社のデータと、『MF KESSAI』の財務与信とを組み合わせた、債権買
取による早期入金サービス『SHIFT KESSAI』を2018年5月以降に開始予定。

MF KESSAIとSHIFTが業務提携、『SHIFT KESSAI』を開始
～債権買取による早期入金サービスで、IT・ソフトウェア開発業界の資金繰り改善を目指す～



mirai talk(『お金のスクール』開催)

52

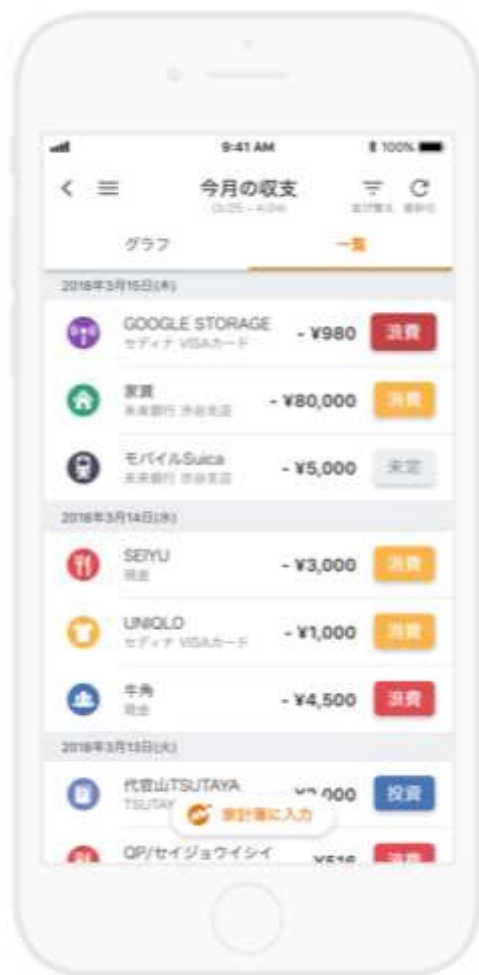
2018年1月より事業を開始。1万人以上の家計を再生してきた横山光昭氏のノウハウを活用した『お金のスクール』が好評。



mirai talk(『お金の体質改善アプリ』リリース)

53

お金の使い方を磨く『お金の体質改善アプリ』を3月にリリース。
リアル店舗とアプリを活用した「お金のパーソナルトレーニング」でお金の
価値観形成と家計改善をサポート。



A wide-angle photograph of a modern office interior. The room features long, light-colored wooden tables arranged in rows, with various colored chairs (orange, green, white, red) tucked under them. The ceiling is a grid of recessed fluorescent lights, and a projector is mounted on the ceiling in the foreground. In the background, there is a wall with a black and white diagonal striped pattern. A large, bright orange rectangular box is overlaid on the left side of the image, containing white Japanese text. The floor is a light, polished material, possibly wood or laminate. A large potted plant is visible on the right side of the image.

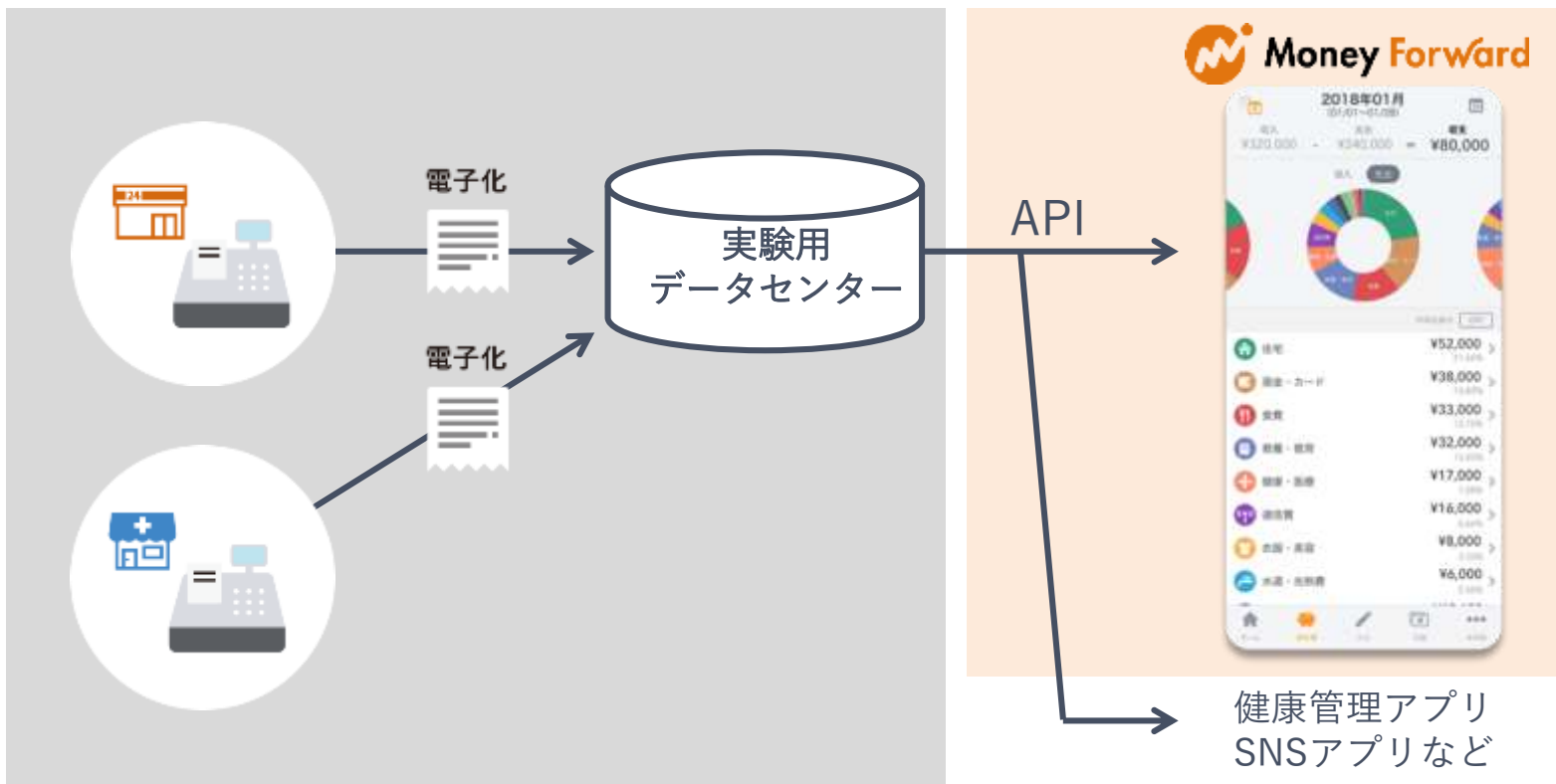
その他の戦略的取り組み

データ活用に関する取り組み

経済産業省、NEDO^(*1)が実施する、電子レシート^(*2)の実証実験に参画。
『マネーフォワード』と電子レシートプラットフォームを連携。

コンビニ・ドラッグストアなどの
電子レシートを統合・管理

『マネーフォワード』を始めとする
各種アプリと連携



*1 新エネルギー・産業技術総合開発機構

*2 各店舗から発行される買物レシートを標準仕様で電子化したもの
参考：経済産業省「平成29年度 電子レシート実証実験のスキーム」

API接続先金融機関数は順調に増加。『未来投資戦略2017』においては2020年までに80行以上の銀行におけるAPI導入が目標。

| 金融機関名 | 開始時期 |
|------------|--|
| 住信SBIネット銀行 | 2016年3月(個人・法人/参照系) 2017年3月(個人・法人/更新系) |
| 静岡銀行 | 2016年4月(個人/参照系) |
| 群馬銀行 | 2016年6月(個人/参照系) 2018年3月(法人/参照系) |
| みずほ銀行 | 2016年10月(法人/参照系) 2017年3月(法人/更新系) |
| セブン銀行 | 2017年1月(法人/参照系) 2017年11月(法人/更新系) |
| 愛知銀行 | 2017年2月(個人・法人/参照系) |
| 三井住友銀行 | 2017年3月(法人/参照系・更新系) 2017年7月(個人/参照系) |
| みなと銀行 | 2017年4月(法人/参照系) |
| ジャパンネット銀行 | 2017年8月(個人・法人/参照系) |
| みちのく銀行 | 2017年12月(個人/参照系) |
| 三菱UFJ銀行 | 2018年2月(個人・法人/参照系) |
| 千葉銀行 | 2018年4月予定(個人/参照系) |
| 北洋銀行 | 2018年4月予定(個人/参照系) |
| 大光銀行 | 2018年5月予定(個人/参照系) |

*赤字は新規の連携先

『記事配信Unit』を新たにリリース。『マネーフォワードfor〇〇』も2件リリース。

『マネーフォワードfor〇〇』：
金融機関お客様向けマネーフォワードを開発



『かんたん通帳』：
金融機関お客様向け通帳アプリを開発



『MFUnit』シリーズ：
金融機関の既存アプリにPFMの各機能を提供

『資産管理Unit』



『記事配信Unit』



金融機関のお客様向けのMFクラウドサービスを提供。4月より福井銀行のサービスを『MFクラウドファイナンス』で提供開始。

『MFクラウドファイナンス』：MFクラウドのデータを活用し資金調達をスムーズに実現するサービス



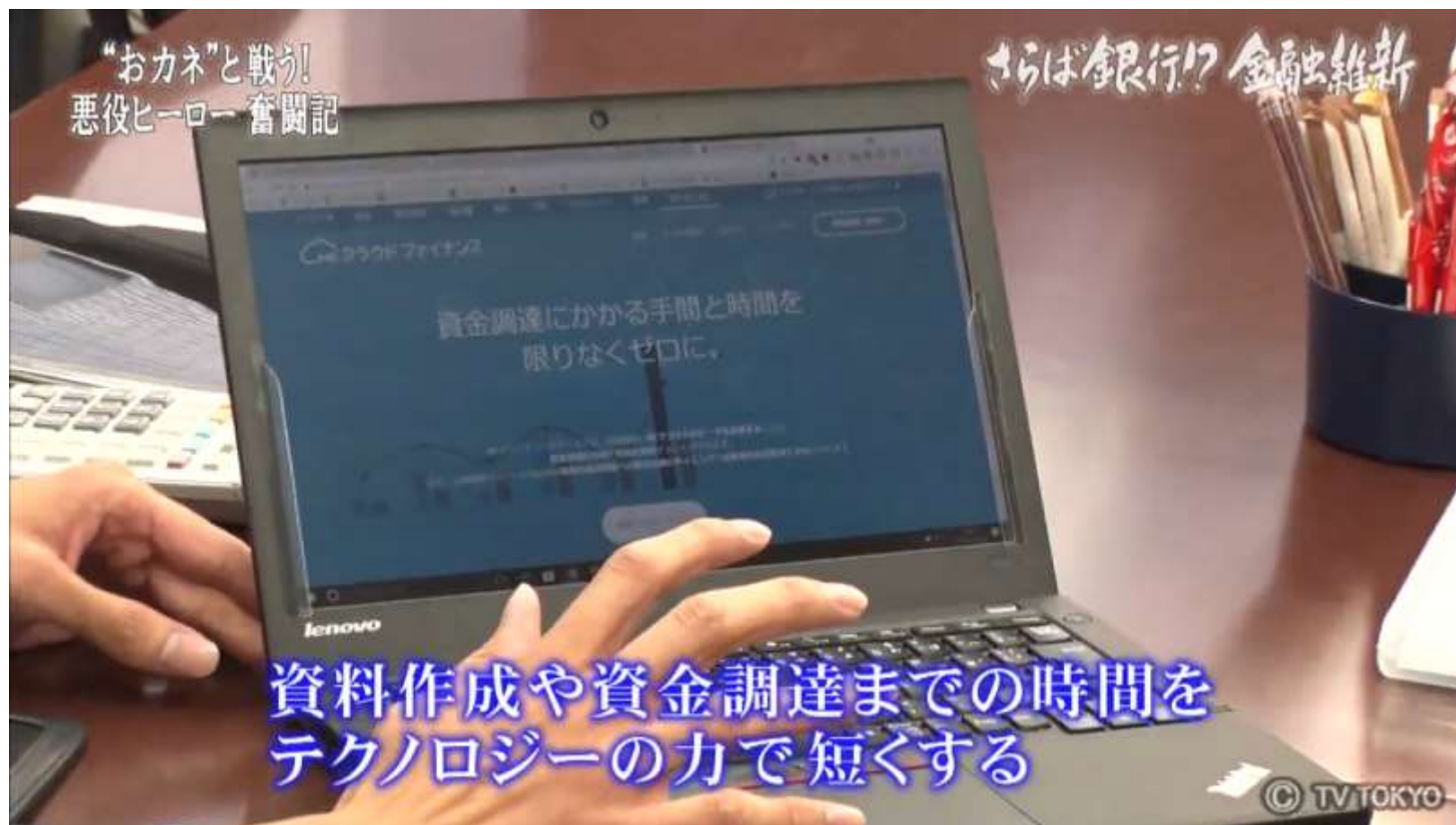
『MFクラウド会計・確定申告for BANK』：金融機関のお客様向け会計・確定申告サービスを開発



上記の他、北洋銀行のお客様向けサービスも開発中。

 新規公表案件

『MFクラウドファイナンス』に関する福岡銀行との取り組みについて、2018年1月の「ガイアの夜明け」にて放送。中小企業の借入実例が紹介される。





中長期戦略・今後の展望

成長戦略

サブスクリプションモデルのため、中長期的なキャッシュフローの現在価値最大化を重視。

人財戦略

優秀な人財の採用および人財育成への継続的な投資。

ブランド戦略

ブランド認知向上への投資、社会貢献とそれを支える企業文化の醸成。

様々な分野への貢献

Fintech領域や、テクノロジーの発展への貢献。

1 ユーザー基盤の更なる拡大

2 ARPUの向上/マネタイズ力の強化

3 新たなサービスライン拡充

4 データ活用による高付加価値化

個人、法人共に国内No.1シェアを確立すべく、ユーザー基盤を拡大。収益力の強化と同時に、将来の成長に向けた投資も加速。

1

ユーザー基盤の
更なる拡大

- ・ 『マネーフォワード』課金ユーザー数が13万人を突破し、他サービスとの相互送客施策も着実に実行
- ・ BtoBtoCサービスの提供先金融機関が拡大し、初のメガバンク利用者向け提供も開始
- ・ 『Crewシリーズ』ユーザーの『MFクラウド』への移行を促進

2

ARPU*の向上
マネタイズ力の強化

- ・ 連結売上高は、前年同期比78%と大きく成長
- ・ 通期見通しの前期比+50~60%の売上成長に向けて、着実に進捗
- ・ 『MFクラウド』利用会計事務所へ『STREAMED』の導入を進めることによりARPU向上を実現

*ARPU：Average Revenue Per User（ユーザー当たり平均売上高）の略称

サービスラインナップを拡充。データを活用した付加価値の高いサービスの実現へ。

3

新たな
サービスライン拡充

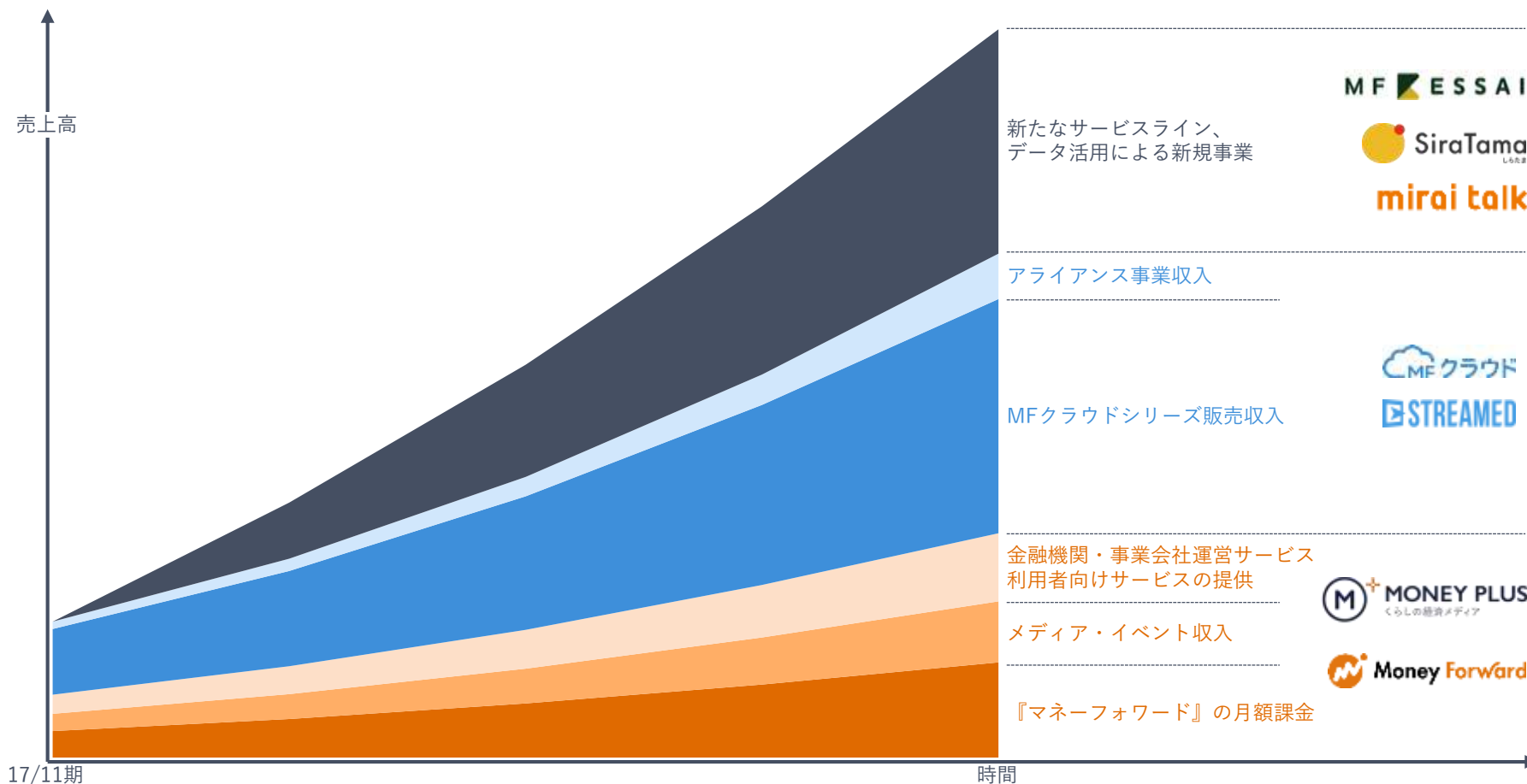
- ・『Money Forward Mall』リリース（2018年5月予定）
- ・『mirai talk』が『お金の体質改善アプリ』リリース
- ・ソフトウェア品質保証のプラットフォームであるSHIFT社と業務提携し『SHIFT KESSAI』の提供を決定

4

データ活用による
高付加価値化

- ・蓄積された膨大なデータを活かし、当社ならではの付加価値の高いサービスを検討
- ・データ基盤構築を加速、人財採用も強化
- ・電子レシートの実証実験への参画、『MFクラウドファイナンス』における提携先の拡充など、対外連携の拡大

ユーザー基盤の拡大とマネタイズ強化、更に新規サービス拡充とデータ活用による高付加価値化によって、今後も更なる成長の実現を目指す。



本資料の取り扱いについて

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社グループの関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。